



The Japanese Society for Cardiovascular Surgery Under Forty

U-40 Annual Report 2022

U-40 担当理事ご挨拶	1
U-40 代表幹事挨拶	
U-40 副代表幹事挨拶	

支部紹介	
▶北海道支部	
▶東北支部	4
▶関東支部	
▶東京支部	
▶中部支部	
▶近畿支部	
▶中国四国支部	
▶九州沖縄支部	

U-40 プロジェクト活動報告	
▶日本心臓血管外科学会雑誌 U-40 コラム	
▶Advanced Lecture Course	
▶基本手技定量化プロジェクト	40
▶先天性プロジェクト	
▶NOTSS プロジェクト	
▶女性医師プロジェクト	
▶血管外科プロジェクト	
▶ウィンターセミナー	
▶体外循環勉強会	
▶心臓血管外科手術基本手技 Webinar	

BLC	56
▶Online 座学	
▶ハンズオン	

サマースクール活動報告	59

会計報告	60

編集後記	61

U-40 代表理事挨拶

日本心臓血管外科学会 U-40 代表理事
秋田大学心臓血管外科学講座
山本 浩史 先生



日本心臓血管学会 U-40 は心臓血管外科医を志す 40 歳以下の医師に、将来、我が国における高度な医療を担うための研鑽の場を提供する本会に特徴的な教育プログラムがありますが、2020 年以降、新型コロナウイルス感染症による人々の往来制限によって活動が著しく影響を受けてきました。国内 8 支部で開催される Basic Lecture Course (BLC) は Web 形式となり、学術総会の Advanced Lecture Course ではシミュレーターによる Zoom 上での競技となり活動を維持して来ました。喜ばしいことは、最近のワクチン接種の普及や抗体カクテル療法・経口抗ウイルス薬の開発が功を奏して感染状況の改善が見込まれてきており、次第に本来の対面形式による活動の再開が可能になりつつあります。

最近の活動内容としては、女性心臓血管外科医を支援する「なでしこハンズオン」、人工心肺を理解・習熟するための「JaSECT コラボ体外循環勉強会」、全国規模で行われた「BLC 拡大ハンズオン」など対面形式のラボ研修が実施され、Web 上でも CVIT コラボオンライン勉強会や中山書店エクセレンスシリーズオンラインレクチャー（継続的）が行われております。また執筆活動としてはメンバーによる日本心臓血管外科学会雑誌への投稿活動（U-40 企画コラム）が継続的に行われております。ここ数年における特記事項は、新型コロナウイルス感染症流行の最中であっても活動内容がアーカイブとして保存され、SNS を通じて何度でも視聴（繰り返し学習）することができるという教育方法が定着したことです。それらのアーカイブを視聴することによって、外科治療を実践する心構えや手術手技の鍛錬につながっていくことが期待されます。

第 53 回の日本心臓血管外科学会学術集会（旭川）は、引き続き対面と Web のハイブリッド形式による開催となりますが、昨年よりも対面による学術集会の色合いが濃くなり、「with コロナ」集会の先駆けになると思われれます。そのような状況で、さらに工夫された形式で U-40 活動は維持されて行くことでしょう。学会員の皆様からのご指導ご鞭撻を賜りながら、今後もより充実した教育プログラムを構築する努力を続ける所存です。U-40 は学会員の皆様の大きな協力があってこそ運営されてきております。これまでの寛大なるご支援に対し心から感謝申し上げますとともに、今後も引き続きご助力を賜りますようお願い申し上げます。

U-40 代表幹事挨拶

東邦大学医療センター佐倉病院 心臓血管外科
田中 千陽



U-40 代表幹事の田中千陽です。いつも U-40 にご協力、ご指導をいただきありがとうございます。U-40 は設立から 9 年が経過しましたが、おかげ様で毎年のように充実した活動が展開できるまでに成長いたしました。私は今年度で退任になりますが、U-40 が成長するのと一緒に、私自身も歩みは遅いものの成長させていただいたのではないかと考えております。

私が最初に代表として選任いただいた時には、まだなにをしたらいいか、なにができるのかもよくわからない状態でした。ご推薦いただいた先生方に恩をお返ししたくてがんばろうともがいていましたが、今は卒業生となった先輩方や当時の幹事に支えられ、ゆっくりと代表職はスタートしていきました。それから多くの人と長い時間を過ごし、たくさんのことを学び、いつのまにか 5 年間、なんとかやりきることができたと思っています。

私が代表になった後、1 番に手をつけたかったのが組織の構造改革と連絡網の充実です。コアメンバーだけががんばるだけでなく、幹事みんながやりたいことをがんばれる構成にし、その上で活動量を増やしていくようにしました。社会における日本心臓血管外科学会 U-40 の役割を理解し、その上で活動を広げ、さらに U-40 の強みを活かし、できるだけ幹事みんなに様々な機会があるように心がけました。

任期途中からコロナウィルスが流行ったのは想定外でありました。例年の行事が一切できなくなり、どうすればいいか悶々としていたときに、悩みながら幹事や事務局と話し、気持ちを切り替えて WEB での活動を始めることができました。一つ一つが手探りで多くの話し合いが必要で、とっても大変でしたが U-40 の活動の幅を広げられた礎になったと思います。

WEB の活動が本格化してからは講演会、討論会、キャリアに関する討論、時には厚生労働省や他学会、書店と協力して会を開催しました。これらにより当学会 U-40 の知名度も上がったのではないかと思います。

コロナ渦前は各地でハンズオンを開催しており、代表 2 年目の年には全国 8 支部主催のハンズオンに参加させていただきました。各地の幹事と触れ合い友達が増えて、大変楽しい思い出になりました。コロナ渦となった後は現地で開催しづらくなりましたが、オンラインハンズオンを他学会に先駆けて開催し、U-40 が最大限できることをみんなで話し合い実現してきました。またコンテスト形式ハンズオンや、今までなかったテーマに関するハンズオン、体外循環ハンズオン、女性医師限定ハンズオン、講師を海外の著名講師にお願いしたりと、挑戦的なハンズオンも開催しました。

このアニュアルレポートは1年の総まとめと活動した幹事の軌跡を残すために作成を始めたものですが、年々活動量も増えていることがおわかりになると思います。手探りで先もわからない活動に賛同し協力してくれた仲間には、感謝の言葉ありません。もっときっちりとした仕事のできたのではないかと多くの後悔と、ここでしかできなかったたくさんの楽しい思い出も、わたしの人生における大事な宝物になりました。正直、自分が歳をとると思っておらず、U-40を退任するなんて夢みたいな話ではあります。しかし次世代育成のためにU-40を作り暖かく育てていただいた理事の先生方や、なにより仲間や後輩のためにも卒業後もしっかり足を踏みしめながらキャリアを送っていこうと思います。

次の世代には、私たちの代とはまた違う色をだし、たくさんの発想と活躍をしてくれることを祈念します。そして暖かくも厳しい先輩たちの指導を受け、より一層存在感を増したU-40になりますように。

最後になりますが、皆様、本当にたくさんのご指導をいただきありがとうございました。横山斉先生、上田裕一先生、福田幾夫先生、山本浩史先生、塩見事務局長には格別なご指導をいただきました。コアメンバーを初めとする幹事の皆様、とても楽しかったです。みなさんと過ごせたのは大変貴重な時間でした。学会員の皆様におかれましては多大なご協力をいただき、どうもありがとうございました。寂しいですが、U-40をこれからも引き続きよろしく願い申し上げます。

U-40 副代表幹事挨拶

大和成和病院 心臓血管外科
高橋 賢一郎



U-40 副代表幹事を拝命して早4年目となり、多岐に渡りプロジェクトを進行するU-40の運営に微力ながら協力させて頂いています。田中代表をはじめとする幹事の奮励によりU-40活動は多彩に拡大し、各所の学会やイベント、セミナーで我々の活動を見聞きしていただいている方もおられることと存じます。過去3年間、何かにつけてコロナ流行が足枷になってきましたが、最近になりやっと政府からの行動制限のない環境が戻り、学術集会は徐々に実地開催へと本来の姿に戻ってきました。U-40ハンズオン企画もそれに倣い、現地開催を目指して2022年秋に立案し、去る12月には過去最大規模のハンズオンセミナー開催に漕ぎ着け、高名な講師の先生方30名にご協力いただき、2日間で若手修練医延べ120名の受講生に熱いご指導を施していただきました。こうしたコロナで抑圧されてきた環境にあっても、心臓血管外科修練医が心にもつ研鑽に対する熱意が失われておらず、このような学びの場を求める声が多いことを再認識し、今後もコンテンツの拡充を図る所存です。我々がこうした活動を続けていられるのは、心臓血管外科学会の後押しがあってこそであり、この場をお借りして理事の先生方、事務局の方々に深く御礼申し上げます。U-40は変化に貪欲に、ますます活動の幅を広げて今後も邁進していく所存です。心臓血管外科に関わるみなさまにご支援・ご協力を頂けますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

支部紹介

北海道支部

北海道は広大な大地を各施設が広い医療圏でカバーし合いながら高度な医療を提供しています。また各施設の心臓血管外科医の数も少なく、各々が日々の診療で多忙な中、外科医としてのスキルアップに望んでいます。土地・気候の特殊性からの独特な疾患もあり、野生動物による外傷や、雪かき中の大動脈解離（結構多いです）などは北海道ならではの経験だと思えます。心臓血管外科医の教育においても3つの大学を含む35の修練施設で若手の教育に尽力しています。土地柄なかなかみんなで集まる機会は少ないですが、これまでのU40の活動を通して知り合えたつながりを大切にして活動を楽しんでいます。

北海道支部長

旭川医科大学 外科学講座 血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野教授
東 信良 先生



北海道支部長を務めております東です。COVID-19感染爆発前からU-40の活動をみせてもらってききましたが、2020年以来、U-40の活動は大幅に制限され、苦しい時代を迎えております。北海道支部は丁度その時期に幹事の交代時期を迎え、U-40の活動継続が大変心配されたのですが、3大学の若手が力を合わせて、社会や環境の変化に柔軟に対応し、オンライン環境なども駆使して、工夫を凝らして活動を続ける姿勢は称賛に値するものと、改めて若い力の素晴らしさを感じております。他地域のU-40との情報交換や連携も重要であったと感謝しております。こうした時こそ、知恵を絞り、大学の垣根を越えて、力を合わせて行動をともにしながら、日本あるいは世界の心臓血管外科を担う次の世代としてのエネルギーを蓄えていただくことを期待しております。

今年は20年ぶりに北海道で学術総会が開催されます。北海道のU-40が企画を考えて活躍してくれる年ですので、彼らがまだ雪が残る旭川を熱く盛り上げてくれることを願っております。

北海道支部代表幹事

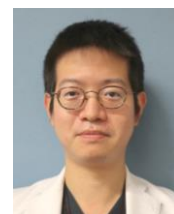
北海道大学病院 循環器・呼吸器外科
村瀬 亮太



引き続き北海道支部代表を務めさせていただいております。ついに40歳になる年度となりました。今後のU40のさらなる発展に足跡を残せるよう活動をしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

北海道支部副代表幹事

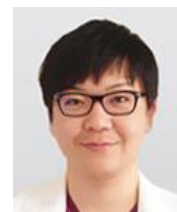
砂川市立病院 心臓血管外科
内山 博貴



砂川市立病院心臓血管外科の内山と申します。今年度より北海道支部副代表に任命いただきました。この1-2年では、コロナ禍でオンラインBLCなどの講演をメインに活動しておりました。司会やパネリストなどU-40幹事でなければなかなかできない貴重な経験をさせていただき、今後も様々な経験を幹事の皆さんと共有できればと思います。これからは北海道でも少しずつオンラインだけでなく、オンサイトのハンズオンなどの企画ができればと考えております。よろしくお願いいたします。

北海道支部広報

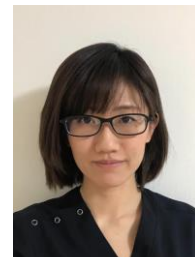
旭川医科大学 血管外科
竜川 貴光



北海道の広報を担当しております、旭川医科大学血管外科の竜川貴光です。今年も前年に引き続き、U40北海道支部での仕事として、2023年度の心臓血管外科学会U40セッションの企画をしたり、血管外科ワーキンググループにも参加させていただいたり、貴重な体験をさせていただきました。未だCOVID-19の影響は計り知れませんが、それでも徐々にオンサイトでの学会も開催され始め、バランスを保ちながらではありますが学術活動が活性化されていけばと願っております。個人的には、大学院での研究も目途が立ち、2023年は臨床・研究共にステップアップしていく年にできればと考えていますので、様々なことに挑戦していければと思っております。U40のイベントにも、積極的に参加していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

北海道支部幹事

函館五稜郭病院 心臓血管外科
在原 綾香



札幌医科大学心臓血管外科所属で現在は函館五稜郭病院に勤務しております在原綾香と申します。私が幹事になったのは2020年からで、新型コロナウイルスの影響で様々な活動が制限されている状況でしたので幹事として全くお役に立つことができておりませんでした。今年度はオンライン BLC を担当させて頂くなど少しだけ活動に参加することができました。来年度以降、感染状況が落ち着きましたらもっと活動が増えると思いますが、微力ではありますがさらにお役に立てればと思いますので宜しくお願い致します。

北海道支部幹事

札幌医科大学 心臓血管外科
沼口 亮介



内科治療の台頭によってより質の高い手術が求められる時代となりました。外科医もふるいにかけられる時代ですが、切磋琢磨して頑張っていきたいと思います。

北海道支部幹事

帯広厚生病院 心臓血管外科
杉本 聡



コロナ禍で学会やレクチャーが現地開催できない一方で、地方ではオンライン開催故にアクセスしやすいというメリットもあり、U-40 においてはオンライン BLC が一つのあり方として定着してきていると感じます。若手心臓外科医にとってスキルアップとモチベーション維持の場になるよう自身も学びながら貢献してまいります。宜しくお願いします。

北海道支部幹事

札幌ハートセンター 心臓血管外科
若林 尚宏



コロナ禍の影響もあり、他施設との関わりが限られる中、U40 は同年代の先生方と交流出来る貴重な場であると感じています。旭川で開催される 2023 年度の日本心臓血管外科学会学術集会では、直に交流し、刺激し合えることを切に願っています。

北海道支部幹事

札幌医科大学 心臓血管外学講座
布施川 真哲



心臓血管外科としてのキャリアは浅いですが、今後皆様の力になれるよう努力して参りますので、よろしくお願いします。

北海道支部幹事

北海道循環器病院 心臓血管外科
宮本 寛之



2022 年度より北海道支部幹事に拝命を受けました、旭川医科大学 心臓大血管外科学分野所属、現在北海道循環器病院出向中の宮本寛之と申します。全てが初めての仕事であり悪戦苦闘しておりますが、少しでも北海道の心臓血管外科の発展に微力ながら貢献できるよう努力してまいりたいと思います。宜しく申し上げます。

北海道支部幹事

北海道立北見病院 心臓血管外科
武川 慶



2022 年度より北海道支部の幹事として参加させていただくこととなりました武川慶と申します。まだ心臓血管外科医として 2 年目ではございますが、若手にとって U-40 の活動は大変貴重な場だと感じております。そのような活動に、微力ながら貢献できるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

東北支部

東北支部は東北 6 県(青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島)で構成される支部です。東北の福島には EBM の FIST があり、手術トレーニングには恵まれた環境にあります。ここ数年はコロナの影響により、会員が直接会うことはできませんでしたが、幹事は個性的な者ばかりで、飲み会になればそれは楽しいメンバーです。東北支部ではアットホームな横のつながりは、日常の臨床の疑問の共有や、時には患者の紹介など、非常に多くの面で活躍しています。今後も、アットホームな東北支部は、3つの笑顔に向かって突き進んでいきたいと思っています。

東北支部長

東北大学心臓血管外科学分野
齋木 佳克 先生



2022 年度における東北支部主催の BLC は、COVID-19 pandemic の遷延化を考慮して、過去 2 年と同様にオンライン形式の勉強会として実施されています。今年度のテーマは弓部大動脈瘤に対する total arch repair ですが、その切り口としては施設間の違いをハイライトして、講師がファシリテーションしながら U-40 のメンバーが各施設の治療戦略をプレゼンするという、参加者を主体とした形式で開催されています。この開催形式の工夫は、ファシリテーターを務めた東北医科薬科大学心臓血管外科教授の川本俊輔先生によって提案されたものでしたが、受講者からの評価は大変好評であったと報告を受けております。

コロナ禍の波が幾度となく押し寄せながらも、学術集会が少しずつ従来の形態を取り戻しつつある中で、私自身が感じていたことは、心臓血管外科医も質問する欲求、対話し議論する欲求が高まっているということでした。学会規模の大小によらず学術集会会場でフロアマイクの前に質問者の列ができることをしばしば目にするようになったのは、そのことを反映していると感じています。やはり人の頭脳は議論して賦活される構造になっており、それによる気づきにより充足感が生まれ、さらには新たな疑問が沸き起こることで次の課題に向けて前進しようとする力が生み出されるのだと思います。U-40 の会員には内在するエネルギーの高さを感じますので、今年度の BLC のような活動を通して、さらに主体的に考え行動していただけるものと期待するところであります。

東北支部代表幹事

秋田大学医学部附属病院 心臓血管外科
高木 大地



東北支部代表を務めさせていただくこととなった高木大地と申します。高齢者が多く、塩分摂取の多い東北支部として、今年の BLC のテーマは「弓部大動脈瘤に対する治療戦略」をテーマに、各施設から自施設の手術適応・術式選択について報告し合い、ディスカッションを行いました。アットホームな東北支部らしく、活発な議論となり、またオンライン BLC という利点により西日本の先生方にも多く質問をいただくことができました。また、コメントーターとして参加していただいた東北医科薬科大学 心臓血管外科教授の川本先生の、各施設の tips and pitfall を引き出す素晴らしいファシリテーションも、個人的には非常に勉強になりました。今年の目標は、U40 が目指す 3 つの笑顔を作り上げながら、それが継続できるように引き続き新しい幹事を増やしていくことだと思っています。若手心臓血管外科医の皆さん、U-40 が目指す「3つの笑顔」を一緒に作り上げていきましょう！！よろしくお願いし

東北支部副代表幹事

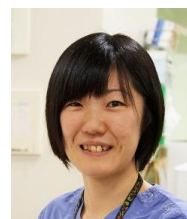
弘前大学医学部 胸部心臓血管外科
小渡 亮介



ツイ廃幹事の小渡です。昨年 U40 はようやくみんなで顔と顔を合わせてトレーニングを行うイベントが開催できました。そこでは、修練医の先生方の「もっとうまくなりた、もっと知識をつけたい」という熱意をヒシヒシと感じました。やっぱこれが U40 だよなあと一人静かに(?)感動していました。僕自身若手で修行中の身ではありますが、これから専門医になっていく先生方など、若手の熱意をサポートしていきたいと感じました。僕は外科学会 U40 にも所属しており、今後主に学術的な面において初学者の支援ができるよう活動していく予定です。自分も今年は外科医としてさらに一皮剥けられるよう気合を入れます。U40 全体でレベルアップしていきたいですね！押忍

東北支部広報

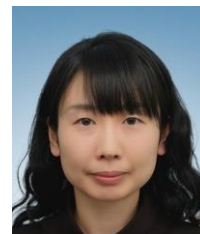
山形大学医学部附属病院 心臓血管外科
石澤 愛



山形大学心臓血管外科の石澤愛です。U40 は医局や施設を越えた若手心臓血管外科医の先生方と繋がれる貴重な機会です。このご時世で直接顔を合わせる機会は減っているものの、U40 の活動を通じて学べる事、得られる事、医局や施設の垣根を超えた 同年代の先生方との交流を大切にしていきたいと思えます。よろしくお願いします。

東北支部幹事

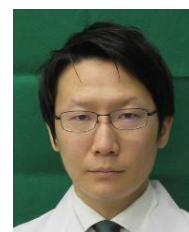
東北医科薬科大学 心臓血管外科
武田 美貴



2022年よりU-40東北支部幹事を務めさせていただいております、東北医科薬科大学心臓血管外科の武田美貴と申します。研修医の頃からU-40の企画に参加し、たくさんの偉大な先輩方にご指導いただきました。U40の活動を通じて私自身も成長し、発展に貢献できたら嬉しいです。どうぞよろしくお願い致します。

東北支部幹事

仙台厚生病院 心臓血管外科
長沼政亮



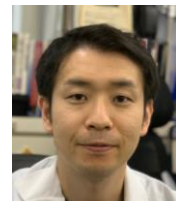
本年より東北支部幹事をさせていただいております。
勉強会での司会や発表など様々な経験をさせていただき大変勉強になりました。コロナ禍でなかなか直接対面でのDiscussionができないのは残念ですが、オンラインで様々な先生とやりとりできるいい機会ととらえ、来年度も頑張りたいと思います。

東北支部幹事

総合南東北病院 心臓血管外科
新妻 健

東北支部幹事

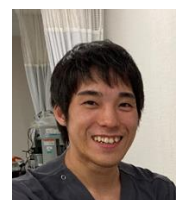
福島県立医科大学 心臓血管外科
石田圭一



東北支部の一員として活動させて頂いております、福島県立医科大学の石田圭一と申します。東北内でもなかなか支部のメンバーと顔を合わせる機会が少なく寂しさはありますが、時々ZOOMを通してでも各々の熱量を感じ、刺激を貰って活力とさせて頂いております。微力ながらも U-40 活動の発展に尽力し、自身の研鑽も積んでいきたいと思っております。今年度も宜しくお願い致します。

東北支部幹事

岩手医科大学付属病院 心臓血管外科
田林 東



2018 年より U40 東北支部の幹事を務めさせて頂いております。若手の心臓血管外科を盛り上げていけるように、微力ではありますが、努力したいと思います。よろしく申し上げます。

東北支部幹事

弘前大学医学部 胸部心臓血管外科
今村 優紀

2022 年から東北支部幹事に加わりました。今まで BLC や ALC に参加し多くの刺激を受けました。若手修練医が切磋琢磨しながら成長出来る場となるよう尽力して参ります。

関東支部

今年度は2人の新幹事を迎え、7名で力を合わせて活発な活動ができました。

online BLC では2022年8月に西織先生が座長を務め、「僧帽弁形成術の基本」について岡本一真先生に座学のご講義をいただきました。

また3年ぶりに、2022年12月にPiO PARK EBM 羽田医療技能訓練所でBLCハンズオンを現地開催しました。関東開催ということで関東甲信越支部幹事も多数参加しました。

今後はコロナウイルス感染の推移をみながら、関東甲信越支部主催のBLCを定期的で開催したいと考えております。

関東支部長

埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科
鈴木 孝明 先生



早いものでU40関東甲信越支部長をお引き受けしてから約5年が経過しました。その半分以上を占める3年間のCOVID-19のパンデミックはようやく終息に向かいつつあるように見えますが、この難しい状況においても工夫を凝らして有意義な活動がなされてきた3年間だったと思います。WEBでのBLCは皆さんの努力の賜物であります。座学についてはWEBでの利点もあり今後も続けて行かれると思いますが、いよいよ対面での関東甲信越支部BLCハンズオンができると良いですね。ハンズオンでのWEBの併用は経費がかかりますが、指導者による解説付き模範手技はアーカイブしてオンデマンド配信での良いコンテンツになるかもしれませんね。いずれにしても今年こそはフルに現地で皆さんと顔を合わせて行えればと考えております。

また、昨年3月の日本心臓血管外科学会学術総会でのU40特別企画は関東甲信越支部が企画担当をしてくれました。大変素晴らしい企画をありがとうございました。関東甲信越支部長としてとても誇りに思えました。感謝申し上げます。

さて、根本前代表幹事から引き継いだ伊藤貴弘新代表幹事による新体制も2年目となります。COVID-19のパンデミック終息を迎え、いよいよその指導力を発揮できる時がやってきたのではないのでしょうか。U40関東甲信越支部メンバー全員が伊藤代表幹事を支え、今まで以上に活発に、そして新たな取り組みも入れて発展し続けて欲しいと願っております。その上で、少しでもU40のお役に立てればと思っております。

今年もまたU40関東甲信越支部の皆さんとはお互いに切磋琢磨しつつ関東甲信越支部はもちろんのこと、U40全体を、そしてU40個々のメンバーを更に発展させましょう。40歳までにやらなければならない事、40歳までにしかできない事、時々立ち止まって考えてみてください。今後とも宜しくお願いします。

関東支部代表幹事

千葉県こども病院 心臓血管外科
伊藤 貴弘



2022年度から関東甲信越支部代表に就任しました伊藤貴弘です。

今年度は3年ぶりに現地開催でBLCハンズオンセミナーを開催しました。

副代表の高橋先生を中心として、関東甲信越支部幹事もサポートもあり大盛況でした。

また先天性ハンズオンでは、関東甲信越支部長の鈴木孝明先生にご協力いただき、ラムの心臓に心室中隔欠損を作成してパッチ閉鎖を行いました。

今年度から副代表に西織先生、広報に澁谷先生、新幹事に亀田先生を迎え、より一層パワーアップしました。

ここ数年、コロナウイルス感染をきっかけにweb上でのコミュニケーションが主体となりつつあります。オンラインと現地開催のメリットを両方生かしながら、幹事を中心に若手心臓血管外科の修練のサポートを目指していきます。

関東支部副代表

千葉県救急医療センター 胸腹部外科
西織 博信



千葉県救急医療センター胸腹部外科の西織浩信と申します。U40 関東甲信越支部幹事を務めさせて頂き今年で2年目になりました。今年はonline BLC、中山書店エクセレンス webinar 等に関わらせて頂き、大変貴重な経験になりました。また12月に行われました大規模なハンズオンレクチャーは、運営面でも手技面でも大変勉強になりました。全国の著名な先生方や各地で研鑽中の先生方と交流できる機会はとても貴重だと改めて感じています。今後も心臓血管外科U40の活動に関東甲信越支部幹事として携われる喜びを感じつつ、微力ながら貢献していきたいと思えます。

関東支部広報

サンライズファミリークリニック
澁谷 泰介

関東支部幹事

伊勢崎市民病院 心臓血管外科

三木 隆生



2019年5月よりU-40関東甲信越支部幹事として諸活動に参加させて頂いております。この活動を通して、心臓血管外科若手医師の研鑽の場としてのBLCの更なる質の向上と、同世代の輪・つながりを広げていく助力が微力ながらできたら幸いと考えています。COVID-19感染対策とその様相に定見が得られ始め、少しずつ onsite での wet labo も企画実行されつつあります。今後は、web を介した interactive な活動はもとより、以前のように対面での lecture 等の企画が実現できるといいなと思います。皆様どうか宜しくお願い致します。

関東支部幹事

新松戸中央総合病院 心臓血管外科

宮崎 豪



新松戸中央総合病院心臓血管外科の宮崎豪と申します。2022年より関東甲信越支部幹事を務めさせて頂いております。以前は良い環境で修練できている若手心臓血管外科医は少数派でしたが、これまで多くの先生方のご尽力があり、最近では所属施設外でも修練の機会が増え、情報の共有も活発になってきました。私自身もU-40関連のトレーニングや勉強会は非常に勉強になり、実臨床において質向上につながったと感じていました。これからはU-40の活動に積極的に関わり、優れた心臓血管外科医がより多く生まれるような環境をつくっていきたいと思います。

関東支部幹事

防衛医大病院 心臓血管外科

山形 美里



U-40 関東甲信越支部幹事を務めさせて頂いております、防衛医科大学学校病院心臓血管外科の時岡(山形)美里と申します。2018年卒の医師5年目です。今年度は久しぶりにBLCハンズオンセミナーが現地開催されました。私も受けさせて頂き、普段の診療では教わらない方法や考え方をレクチャーしていただき、目から鱗な1日でした。またU-40での活動や交流を通じて、U40医師全体で切磋琢磨していけたら幸いです。今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

関東支部幹事

済生会横浜市南部病院 心臓血管外科
森 佳織



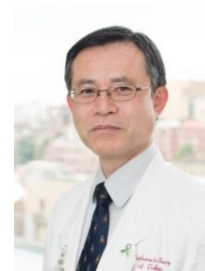
済生会横浜市南部病院の森と申します。U-40 関東甲信越幹事の活動に参加させて頂いて2年目になります。ここ数年はコロナ窩の影響もあり、様々な活動の制限はあるものの、今年度はオンサイトでのセミナーの再開もあり、座学でもオンラインでの貴重なご講演を頂くなど、実りの多い1年だったのではないかと思います。そのような機会を与えてくださった先生方に感謝するとともに、来年度はU-40の活動に少しでも尽力できるよう活動したいと思います。未熟者ですが、よろしく願いいたします！

東京支部

東京支部は修練施設が密集しており、U40 心臓血管外科医が多い支部の一つです。幹事構成は各分野にバランスの良いメンバーとなっており、成人心臓大血管7名、先天性3名、末梢血管1名で、幅広い活動を行っています。主要幹部やプロジェクトリーダーとして活躍している活動的な幹事が多い支部でもあり、著名な教授・講師の先生がたと交流する機会も多くあります。本年度は東京に残留するメンバーが少ない中、個々がそれぞれに精進しました。新型コロナウイルスの影響で、WEB 媒体での活動が多かったですが、年末には全体でのBLC ハンズオン活動もあり、従来の対面での情報交換や、御指導を受けることができました。来年度は With コロナとして、さらに様々な活動ができれば良いと思っています。

東京支部長

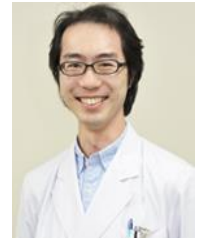
東京大学大学院医学系研究科 心臓外科
小野 稔 先生



新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、2022 年秋開催の各学会はようやく現地開催を主体とする形態を取り戻し始めた1年でした。BLC は昨年引き続きオンライン形式を踏襲しましたが、ハンズオンプロジェクトは多くの U40 のメンバーの努力のお蔭で、12月10日～11日に受講生120名、講師25名の大陣容で開催できたことに改めて U40 のメンバーに感謝したいと思います。私も講師の1人として参加させて頂き、やる気満々の若手外科医と交流でき、大変に充実した時間を過ごすことができました。働き方改革が進む中で、集中的に一流の講師陣による技術指導を効率的に実施することの重要性が増しています。2023年の東京支部においては、座学はさておき、ハンズオンセミナーを是非とも開催できるように企画できればと考えています。次世代を担う若手外科医の皆さんに、私どもの経験と技術を少しでも多く伝えていきたいと考えています。2023年が U40 メンバーにとって充実した1年となることを念願しています。

東京支部代表幹事

川崎医科大学総合医療センター 総合外科学
丸野 恵大



2020 年度より東京支部代表幹事を務めさせて頂いています。

来年から東京医科大学病院へ帰院することになりました。前任地で学んだ手術技術を存分に生かしたいと思っています。

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、本年度も Basic Lecture Course 講義がオンライン開催でしたが、感染対策を万全にし、年末に対面で開催することができた BLC ハンズオンに講師役として参加することができました。

東京支部には各プロジェクトの中心となるメンバーが多く在籍しており、みなが多方面での活動しております。そんな中、東京支部のまとめ役として良い経験をさせて頂きました。本年度で U40 幹事は退任となりますが、今後も何かの形で U40 の活動に関わってけると良いと思っています。

東京支部副代表幹事

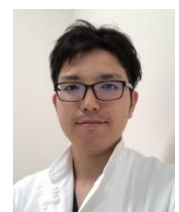
青梅市立総合病院 心臓血管外科
櫻井 啓暢



2020 年度東京支部幹事に就任し、2021 年度より東京支部副代表を務めさせて頂いております武蔵野赤十字病院心臓血管外科の櫻井啓暢です。U40 に参加することは知識や手術手技を修得するための研鑽の場だけでなく、同年代の仲間と交流を行うことで日々の励みにもなっております。本年度は現地開催が行われる学会も増え、3月に開催された心臓血管外科学術集会では東京支部のメンバーと初めて対面で会う機会があるなど、少しずつではありますが平静を取り戻してきていることを実感しました。来年度は U40 の活動により尽力できればと思います。

東京支部広報

平塚市民病院 血管外科
林 啓太



2018 年より東京支部の幹事を務めております。末梢血管領域を専門としており、U-40 内では血管外科グループとして主に活動しております。コロナ禍で一時的にリモート開催が余儀なくされたハンズオンも徐々に現地開催ができるようになってきておりますので、血管外科グループについても若手の先生の役に立つ手術手技や情報を積極的に発信していきたいと考えております。今後ともよろしくごお願い申し上げます。

東京支部幹事

福岡市立こども病院 心臓血管外科
平野暁教



U-40 東京支部幹事の平野暁教です。慶應義塾大学 心臓血管外科医局所属で、小児心臓外科として現在福岡市立こども病院で国内留学中です。4月からは埼玉医大国際医療センターに赴任予定です。U-40 先天性プロジェクトのリーダーもしています。

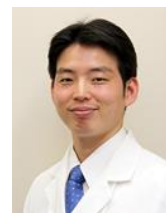
福岡はいいところです！日本一小児の手術を行っている病院ですので、小児心臓外科希望の先生は一度は見学 or 修練にきてください！

小児心臓外科をやりたい若手はぜひ一緒に頑張っていきましょう！横のつながりはとても大切だと感じております。また、日本心臓血管外科学会 U-40 活動にも貢献できるよう頑張っていきたいと思えます。よろしくお願いたします。

P.S 福岡市立こども病院に国内留学中にひげを生やしました！

東京支部幹事

東京ベイ・浦安市川医療センター 心臓血管外科
吉野 邦彦



2018 年度より U-40 東京支部に所属し、Advanced Lecture Course (ALC) のプロジェクトリーダーを務めさせていただいております。U-40 の活動を通じて、外科医として必要とされる技術、知識、人間性を学び、共有していくことを目標としております。U-40 幹事としてもまだまだ未熟ですが、活動を楽しみつつ、支部に貢献できればと思います。

東京支部幹事

金沢大学 心臓血管外科
片桐 絢子



2020 年度から東京支部幹事をしています。

U-40 で活動する機会を与えていただき、色々な方から刺激を受けて勉強させて頂いています。新型コロナの影響でオンラインでの交流が当たり前になった今、知識のアップデートや情報収集は、より効率的に容易になったと感じています。若手心臓血管外科医に向けて役に立つような情報発信ができるよう、引き続き活動していきたいと思えます。

東京支部幹事

東京慈恵会医科大学附属病院 心臓外科
星野 理 (さとし)



2021年より田中 U-40 代表に頼み込んで東京支部の幹事に就任させていただきました。2年前までは医局に属さず長野の地方病院で診療部長をしておりましたが今は都心の大学で大学院生という180度真逆の生活をしております。地方と都心の違い・医局員とフリーランスの違いを経験した立場から、医局制度を超えた若手育成の枠組み作りや、大都市への医師の偏在・地方の過疎化、病院の集約化などに興味があり、U-40としてそれらの問題に貢献できればと考えております。同じような問題意識をお持ちの方、ぜひここから変えていきましょう！

東京支部幹事

榊原機記念病院 心臓血管外科
桑原 優大



榊原記念病院 心臓血管外科 桑原 優大と申します。先天性心疾患全般を専門としております。活動を通じて医局や施設の垣根を越えた同世代の先生方と交流を持ち、志高く日本の心臓血管外科を盛り上げて行けたらと思います。宜しくお願い致します。

東京支部幹事

東京都健康長寿医療センター 心臓血管外科
伊達 数馬



2020年より東京支部の幹事をさせていただいております。U-40での活動も3年目となり、今年度も引き続きALCプロジェクトでの活動いたしました。まだまだ新型コロナウイルス感染症が日常診療や学会にも影響を及ぼし、もどかしい思いをすることもあります。徐々に日常も戻ってきていることを実感することも増えてきました。今年度で幹事は退任させていただきますが、大変貴重な経験を数多くさせていただきました。今後も引き続き心臓血管外科の更なる発展につながるよう、微力ながら尽力してまいりたいと思います。3年間ありがとうございました。

東京支部幹事

大和成和病院 心臓血管外科
高橋 賢一郎



U-40 幹事として6年目となりました。ハンズオン関係のプロジェクトを中心に携わらせていただいています。2021年まで在籍していた日本医科大学の心臓血管外科医局を離れ、現在は神奈川県にある大和成和病院で常勤医として勤務しています。厳密には職場は東京ではなくなりましたが、参画当初から今でも東京支部幹事として活動しています。皆様どうぞよろしく願いいたします。

東京支部幹事

聖路加国際病院 心臓血管外科
玉木 理仁



2022年度より東京支部の幹事を拝命いただきました、聖路加国際病院の玉木理仁と申します。U-40にはこれまでBLCのハンズオンや座学などで大変お世話になってきました。これからは、少しでも恩返しができるように幹事として精一杯務めさせていただきます。まだまだ未熟ですが、心臓血管外科の若手を盛り上げていきたいと思っております。何卒よろしく願いいたします。

中部支部

中部支部は愛知・岐阜・三重・静岡・石川・福井・富山の7県で構成されており、比較的広範囲を担っています。本年度は岐阜県幹事が不在で、富山県・福井県幹事が国内留学中で不在ではありますが、各々の専門分野も成人心臓・小児心臓・末梢血管と3領域が網羅されバランスが取れているのが特徴です。コロナ禍では各々が県を跨いで会うことが困難となり、BLCの活動や準備もオンラインが主流となり、直接会えない分、より密に連絡を取り合うことで今まで以上に結束できたように感じます。徐々に対面での活動も増えてきましたが、今後も中部支部の在り方を模索し続け、より良い活動が提供できるよう邁進したいと考えております。

中部支部長

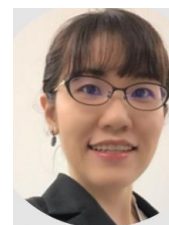
藤田医科大学病院 心臓血管外科
高木 靖 先生



藤田医科大学心臓血管外科の高木です。碓氷先生の後任として日本心臓血管外科学会中部支部長を拝命しております。もともと上田裕一名古屋大学名誉教授が構築された組織のなかで、中部支部を碓氷先生が引き継がれ、その先生方のご指導のもと10年以上が経過し、U40は揺るがない組織に成熟して来ていると思います。U40の代表の方々は、学会の理事会や、各委員会でもしっかりと意見を出されて、むしろ学会を牽引していただいているといっても過言ではありません。これまでのU40の皆さんが積み上げてこられたものを尊重するとともに、さらにもっと充実するようU40活動を全面的にバックアップする所存であります。何卒、暖かいご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

中部支部代表幹事

あいち小児保健医療総合センター 心臓血管外科
野田 美香



2016年度より中部支部幹事に就任し、2020年度より支部代表を務めております、あいち小児保健医療総合センターの野田美香と申します。以前は成人の心大血管・末梢血管に携わっていましたが、学位取得後に先天性心へ転向し日々邁進しております。私は今年度で任期満了なため、日々の活動の中でシフトチェンジを意識しておりました。中部支部ではonline BLCに加えて、今年度はコラム作成にも携わり支部内の経験値を上げることができました。今後は中部支部の活動を陰ながら支えていきたいと存じます。

中部支部副代表幹事

金沢大学 心臓血管外科
上田 秀保



このコロナ渦の中でも徐々にコロナ前のような活動も少しずつできるようになってきました。特に対面でのBLCが12月10日・11日と羽田で開催されることとなり、誠に微力ながら運営の手伝いをさせて頂きました。全国から熱意を持った心臓血管外科医が参加して下さいましたこと、その参加者に対して大変多くの高名な先生方が直接指導して下さいる状況を目の当たりにして、外科医不足が嘆かれています中、日本の心臓血管外科の未来も捨てたものではないと感じました。中山書店のウェビナーでも、第10回を担当させて頂きましたが、参加者が意外といたため、心臓血管外科に興味をもつ学生や専攻医の存在を感じました。自分は本格的に中堅となり、やや新鮮味が薄れてきていますが、この活動を通して、若手外科医のやる気向上はもちろんのこと、自分自身のupdateにつながるよう活動に関わりたいと思います。自分が老害とならないよう、がんばりたいと思います。

中部支部広報

静岡県立こども病院 心臓血管外科
鳥塚 大介



広報担当となりはや1年、U-40の幹事としての期間も長くなってきました。未だ自大学の若手にすらU-40の活動を十分伝えきれておらず、ネット全盛のこの時代にもっと気軽にアクセスできる集団になるにはどうすればいいかと悩んでおります。中部地区で心臓血管外科が一層盛り上がっていくよう、引き続きお手伝いできればと思います。鳥塚大介でした。

中部支部幹事

愛知医科大学 血管外科

今枝 佑輔



愛知医科大学血管外科の今枝です。中部支部の幹事を拝命し4年目となりましたが、半年でコロナ禍となりほとんどの活動がオンライン上で行われてきました。やっこの1年は徐々に学会活動をはじめラボなどもオンサイトでの開催が復活し、諸先生方と直接お会いする機会も増えてきた印象をうけます。同世代と会話を交わす中で日々の臨床に刺激を受けたり、情報交換ができたりと直接顔をつきあわせての活動は楽しいものです。心臓血管外科学会の若手にとって益々楽しく学べる機会が増えますよう微力ながらお手伝いさせていただき所存です。私の任期も残すところあと2年となりました。引き続き、よろしくお願い致します。

中部支部幹事

名古屋市立大学病院 心臓血管外科

北村 浩平

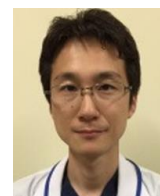


名古屋市立大学病院心臓血管外科の北村浩平と申します。ご縁があり、2022年度よりU-40に参加させていただくことになりました。まだ心臓血管外科医として駆け出しの若輩者ではありますが、世代の近い先生方と共に色々学ぶことが出来れば幸いです。よろしくお願い申し上げます。

中部支部幹事

小牧市民病院 心臓血管外科

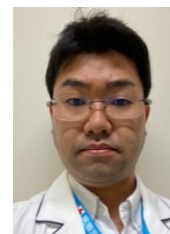
末永 啓人



2022年で40歳になりました。流石に若手とは言い難い年齢となりました。これからも微力ながらU-40の活動を応援していきたいと思っております。

中部支部幹事

福井大学 心臓血管外科
矢野 啓太



2022年4月に福井大学から異動となり、職場が近畿に移りましたが、引き続き中部支部幹事として活動のお手伝いをさせて頂いています。コロナの影響はありつつも、少しずつではありますが学会もオンサイトで再開されてきており、U40の皆様ともオンラインではなく対面でお会いできるのを楽しみにしております。

under かつ around 40 となり数年立ち、幹事としての任期満了も近づいてきておりますが、さらにU40活動が盛り上がるように努力致します。よろしく願いいたします。

中部支部幹事

一宮市立市民病院 血管外科
鶴岡 琢也



U40 中部支部に所属しながら、U40 血管外科グループの一員としても活動させていただいております。2022年7月より、名古屋大学大学院血管外科から一宮市立市民病院に異動して、血管外科医として日々励んでおります。実臨床においては、心臓外科、循環器内科医師らと、心大血管から末梢血管領域まで、それぞれの得意とする分野で協力しながら、患者によってより良い医療を提供できるよう心がけています。一例を挙げますと、TAVR(TAVI)は、循環器内科医師が主導ではありますが、心臓外科医師が必ずバックアップで術野に入り（オペレーターとなることもあります）、アクセスの問題があれば血管外科医師が参加し、トラブルに対してすぐに修復、血行再建を実施します。TEVARについては心臓外科・血管外科、PADについては血管外科・循環器内科で症例を共有し、検討しています。血管外科、心臓外科、循環器内科の協力体制について、他の病院にとってのモデルケースとなっていけるよう、努めていきたいと思っております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

中部支部幹事

愛知厚生連海南病院 心臓血管外科
西 俊彦



愛知厚生連海南病院心臓血管外科の西俊彦と申します。

成人心臓血管外科分野の業務に従事しております。

U40の活動を通じて、若手心臓血管外科医の成長、交流の場作りが出来ればと考えております。よろしくお願い申し上げます。

中部支部幹事

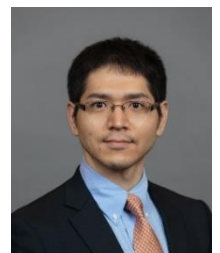
三重大学医学部附属病院 胸部心臓血管外科
別所 早紀



三重大学医学部附属病院 胸部心臓血管外科の別所早紀と申します。成人心臓血管外科を専攻しています。U-40での活動を通じて、同年代の方々の活躍に、一層身が引き締まる思いです。医局の垣根を越えて、様々な方々と交流し、自己研鑽につなげていければと考えています。つい日常診療に追われがちで、なかなか機会を逸してしまいがちなので、今年こそはぜひU-40の場をお借りして広く学べられたらと思います。今後ともよろしくお願い致します。

中部支部幹事

静岡県立こども病院 心臓血管外科
中村 悠治



今年はコロナ禍の中、徐々に現地開催での学会やハンズオンが再開された1年でした。同時に昨年までと同じくオンラインでの各種の教育セミナーは継続され、特に心臓血管外科手術基本手技webinarシリーズは各領域のエキスパートに講義していただいております。若手心臓血管外科にとっては非常に有意義なものになっています。特に他施設の「お作法」を学ぶことは今の自分の手技を見直すよい機会となり、毎回勉強させていただいております。来年には働き方改革による新しい働き方が実装される予定であり、また心臓血管外科領域では施設集約化に向けた動きも進んできています。これからの修練のロールモデルとなれるようこれからも情報発信をしていけたらと考えています。

近畿支部

近畿支部は滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫の6府県で構成されており、現在滋賀・和歌山を除く4府県から計7名の幹事に参加頂いています。近畿は非常に病院数の多い地域であり、おそらくはU-40の若手心臓血管外科医も多く在籍しているであろう地区だと思います。限られた症例数の中で、若手の数が多いというのは症例の取り合いになってしまう、、、というのはもはや過去の話になっています。今や心臓血管外科医を目指そうというresidentの数は減り、ほとんどの施設で人員不足になっている現状です。この現状を打破するためには若手同士で切磋琢磨し、次世代の心臓血管外科医の育成が急務です。少しでもそれをお手伝いできればと思っています。参加したい方がいらっしゃったらいつでもご連絡ください。お待ちしております。

近畿支部長

京都府立医科大学
夜久 均 先生



U-40のみなさんこんにちは。日本心臓血管外科学会近畿支部長、京都府立医科大学附属病院の夜久です。まだまだコロナは収束しませんね。そのような中で、様々なプロジェクトを作り、また対面あるいはWEBのOff-the-Job Trainingを工夫しながら進めておられるU-40の先生方には本当に敬服いたします。その中でもNon-Technical Skill for Surgeonプロジェクトでは、自分たちが中間管理職と位置付け、今後教授や部長といったチームリーダーになるための素養を身に付けるため、また自分たちより若い外科医への人材育成という視点から考えておられる点は素晴らしいかと思います。教授や部長ではなくても心臓血管外科という領域は常に多職種で行う診療であり、そういう意味で執刀者は常にチームリーダーである訳で、チームマネジメントのノウハウを身に付けることは非常に重要かと思います。例えば自分が執刀している症例で閉胸中に大血管吻合部からの突然の出血がありすぐに手で押さえた。これからどうするか？人工心肺をどのくらいの時間で組めるか、助手の技量、直接介助ナースの経験度、麻酔科医の実力、また輸血の準備がどのくらいできているかを瞬時に見極め、現時点のチームの実力を最大限引き出す戦略での対応を選択することになります。これはまさにリーダーシップが問われる状況であり、執刀者は常にチームマネジメントの訓練をしておかないといけません。リーダーシップと言えば私自身肝に銘じているのはやはりピータードラッカーの考え方です。リーダーシップとは、①リーダーシップにはフォローが必要。つまりは独りよがりでは駄目である。②リーダーシップを仕事として考える。カリスマ性ではない。カリスマ性はむしろ害になる。③リーダーシップは責任である。最後は自分の責任とはっきりと言える。U-40の皆さんが今後、執刀医はもちろんの事、部長、教授、病院長等を経験していかれる中で必ず役に立つものかと思っています。U-40で活躍された先生方には、今後日本心臓血管外科学会の執行部にどんどん入って来ていただき、日本の心臓血管外科を背負っていただければと思います。どうぞよろしく申し上げます。

近畿支部代表幹事

埼玉県立小児医療センター 心臓血管外科
本宮 久之



前任者よりバトンを引き継いでから気がつけばあっという間に3年が経ちました。規定通りいけば任期もあと1年ということで、そろそろ次世代にバトンを渡す準備もしていかなければならないと感じております。また、私事ですが2023年1月より埼玉県立小児医療センターに異動となり、なかなか顔を合わせてのミーティングが益々しづらい環境になってしまいました。幸い、オンラインでのミーティングなどを通して活動を継続していけたらと思っています。支部紹介でも述べたように、近畿地区は病院の数がかなり多い地区であり、優秀な若手の先生もまだまだいらっしゃると思います。もはや同世代は蹴落とすべきライバルではなく、共に手を携えて登る仲間です。ぜひ我々に力を貸してください、一緒に頑張りましょう。

近畿支部副代表幹事

神戸大学 心臓血管外科
辻本 貴紀



今年度から心臓血管外科学会 U-40 幹事に拝命頂き、近畿支部副代表を務めております神戸大学心臓血管外科 辻本貴紀と申します。それまでも U-40 の活動についてはお聞きしていましたが、実際参加することで活動が思っているよりずっとアクティブであり、幹事同士や上の先生方とのつながりが強く、学びが多い集まりだと感じております。私自身は U-40 に参加しまだあまり活動ができていませんが、先輩方の活動を見て学び、積極的に近畿ないし全国におられる心臓血管外科医の方と交流し一緒に学んでいきたいと思っております。具体的には来年度よりコロナの情勢が落ち着くとともに、ウェットラボの再開など対面でのイベントを企画していきたいと思っております。是非とも U-40 での活動に興味があるかたはご連絡いただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

近畿支部広報

京都府立医科大学 小児心臓血管外科
永瀬 崇



京都府立医科大学 小児心臓血管外科の永瀬 崇と申します。今年度(2022 年度)で医師 6 年目、心臓血管外科医としては 3 年目で、U40 の中でもまだまだ若手の駆け出し心臓血管外科医です。

この度近畿支部幹事を拝命いたしました。U-40 の活動を通し、自分自身色々と学んでいければと考えております。微力ではありますが、U-40 に貢献できるよう頑張ります！どうぞよろしくお願いいたします。

近畿支部幹事

国立循環器病研究センター
藤内康平

平成 28 年大阪大学卒、国立循環器病研究センター心臓外科の藤内康平（とうない こうへい）と申します。2022 年度より近畿支部幹事をさせて頂いております。国循に赴任して今年で 4 年目になります。国循では成人心臓チームに属し、なかでも重症心不全に対する外科治療を専門に臨床・研究を行っております。個人的には、新専門医制度 1 年目の学年であり、卒後 7 年目にあたる 2022 年度に外科専門医試験と心臓血管外科専門医試験を受験し、なんとか合格することができました。また、今年 4 月からは大阪大学大学院に入学し社会人大学院生として、国循再生医療センターにて基礎研究を行う予定です。U-40 近畿支部幹事として、若手心臓外科医のトレーニング・キャリアプラン形成に少しでもお役に立てるシステム・組織・機会作りのため、精進して参りますので宜しくお願い申し上げます。

近畿支部幹事

国立循環器病研究センター
野田 和樹

国立循環器病研究センターの野田和樹と申します。4 月から母校の大阪公立大学に帰る予定です。U-40 の活動に携わることができ、大変光栄に思います。未熟者ではありますが、今年も少しでも協力させて頂きます。よろしくお願いいたします。

近畿支部幹事

医学研究所北野病院心臓血管外科
北方 悠太



U40 近畿支部幹事の北方です。大阪の医学研究所北野病院心臓血管外科で勤務しています。昨年度より幹事を拝命し、活動に参加しております。U40 幹事に参加することで、学会活動や様々な Lecture で多彩な知識や経験を得ることができ、大変貴重な経験をさせていただいていること、感謝申し上げます。

コロナ禍より参加していることもあり、残念ながら同支部含め U-40 の他幹事方々と直接お会いする機会がなく寂しいところもありますが、是非とも活動を盛り立てお役に立てればと思っています。若手外科医に必要な情報や機会を提供し、若手ならではの目線で心臓血管外科領域に貢献するよう精進いたします。ご質問などあればいつでも遠慮なくご連絡ください。

中国四国支部

中四国9県にまたがる広いエリアで活動しています。昨年度この Annual report で BLC の各県持ち回りの楽しさについて語り、『さて、次回の開催は……？乞うご期待！参加申込はお早めに！！』と書いて煽ったものの、どの県でもなく WEB 開催になるとは思ってもみませんでした。当支部はオンラインレクチャーにおいては「肺循環」というテーマを担当し、手探りではありましたが、講師の先生に恵まれたこともあって十分な役割は果たせたと思います。来年度も、より面白い BLC にするべく一丸となって試行錯誤していく所存ですので、よろしくお願いいたします。

中国四国支部長

山口大学大学院器官病態外科学
濱野 公一 先生



U-40の中四国支部長を務めている山口大の濱野です。本年もU-40の活動は、オンラインが中心であったようですが、その状況下でも、内容が年々充実してきているように感じています。U-40のメンバーにとって有益な企画が取り上げられるのは素晴らしいことだと思います。また、横の繋がりが出来ることも素晴らしい事だと思っています。本年は、待望の対面での座学、ディスカッション、ハンズオンが出来ることを祈念しています。U-40のために可能な限り尽力しようと思っていますので、どうかよろしくお願いいたします。

中国四国支部代表幹

岡山大学病院 心臓血管外科
井上 善紀



日常の勤務以外で学べる機会・刺激が U-40 活動の中にあると思います。今年の目標も目の前の仕事・目標ばかりにとらわれず中長期的な目標を達成できるよう日々少しずつ自分のとりくみ（練習・勉強・趣味など）を修正・改善しつづけていくことです。

中国四国支部副代表

近森病院 心臓血管外科
衣笠由祐



高知県幹事の衣笠由祐です。この 1, 2 年で U-40 の認知度が一層高まっていると感じます。有意義なコンテンツも多数発信されており、この一端に関われていることを嬉しく思います。オンラインだけでなく、再びオンサイトの企画も増えてきましたので可能な限り参加し、交流を深めていきたいと考えています。そして我々だけでなく、未来の心臓外科医が魅力を感じるコンテンツを提供できる環境を構築できるよう尽力して参ります。

中国四国支部広報

広島大学病院 心臓血管外科
呉 晟名



U-40 の活動に関わらせていただき、同年代の先生方が学術的にも臨床的にも活躍されている姿を見て大変刺激を受けており、一層身が引き締まる思いです。去年は online BLC しか経験できませんでしたが、今後 COVID の状況が落ち着き、対面での活動も増えていくのではないかと思います。直接いろんな先生方にお会いして交流し、心臓血管外科の発展に少しでも力添えできればと思います。本年度も何卒よろしくお願ひいたします。

中国四国支部幹事

愛媛県立新居浜病院 心臓血管外科

浪口 謙治

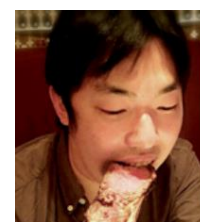


愛媛支部の浪口謙治です。立派な心臓外科医として成長するために必要な「心・技・体」。昨年は「体」中心に修練を積んでまいりました。今年は「技」を磨くべく基本を大事に修練していく次第です。「功を焦らず、悲観せず、深く根を張り時を待つ」を座右の銘とし、とにかく「根を大事にしない外科医にならない」よう、1年間頑張っていきますので皆様ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

中国四国支部幹事

徳山中央病院 心臓血管外科

松野 祐太朗



中国四国支部、山口県幹事の松野祐太朗です。U-40 幹事としての活動は今年で4年目となります。まだまだ COVID-19 の収束とは言えない状態がつづいておりますが、現地開催の学会も増えてきており、オンサイトでの活動ができることを楽しみにしております。U-40 の活動含め、日々、精進していく所存です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

中国四国支部幹事

近森病院心臓血管外科

杭ノ瀬慶彦



近森病院心臓血管外科の杭ノ瀬慶彦です。

早いもので近森病院での心臓血管外科研修ももうすぐ終了します。心臓血管外科医を志して初期研修終了して間もなく何もない状態で近森病院に来て正真正銘 0 の状態から心臓血管外科のノウハウを優しい上級医の先生方に教え込まれました。4月からはまた別の病院での仕事となりますがこの2年間で培った知識を持って胸を張って仕事をしていき、また新しい知識、手技を一つずつ自分のものにしていきたいと思います。U-40の方でも未だあまり他の幹部の方のお役に立てていない状況が続いています。今年は少しでもお役に立てるやつに少しずつ頑張っていこうと思います。これからもよろしくお願いいたします。

中国四国支部幹事

鳥取大学 心臓血管外科
堀江 弘夢



2012年卒堀江弘夢と申します。

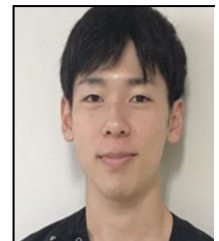
まだまだコロナ禍からは脱せず対面での交流が制限される中、オンラインでの座学、ハンズオンに多くの参加者が集うたびに、同志がこんなにもいるんだとあらためて実感しています。いつかまた対面で交流ができることを目指し、今後も中四国代表の一員として尽力いたします。

私は島根県松江市の出身であり、18で隣県の鳥取県米子市にありますが鳥取大学へ入学、そのまま同大学の心臓血管外科医局へ所属しています。ほぼ山陰という土地から足を出さない人生ではありますが、この小県からなんとか発信していけたらと思っておりますのでよろしく願いいたします。

研修医時代に結婚、現在は3児の父という側面もあります。私の入局時と比してこの10年で医師のワークライフバランスはだいぶ改善されているとはいえ、心臓血管外科医と父親の両立の難しさは底知れず、その点に関してもこのU-40の活動の中で学会へアピールしていけたらなと考えています。

中国四国支部幹事

愛媛大学 小児心臓外科
坂本 裕司



愛媛大学医師6年目の坂本です。今年度から本格的に大学院で研究を始めたため、臨床へのcommitmentがかなり減ってしまいました。基礎と臨床の両立に悩む日々を送っています。幸い、臨床面では技量に応じた症例を経験させていただいています。個人的に今年特にU40の中で役立ったのが、U40先天性プロジェクトにおける外科系教育セミナーでした。レクチャーとディスカッションを通して、他施設の術者がこういった哲学をもって手術を組み立てているのかを知ることができ、非常に有用だと感じました。小児の経験は自施設のみなので、こうして他施設と情報を交換できる機会は大変貴重です。このことは小児に限らず、成人心臓、血管外科においても言えると思います。U40における交流を通して見識を深め、修練に励める環境を作れるように、微力ながらU40の活動に貢献できればと思います。よろしく申し上げます。

中国四国支部幹事

香川県立中央病院 心臓血管外科

池田 千晶



心臓血管外科希望ですが、今は香川県で地域医療に従事しており、心臓血管外科からは少し距離があるところにいる池田千晶と申します。現在1歳児の育児中です。活動を通して勉強していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

九州沖縄支部

当支部は、福岡2名、佐賀1名、大分1名、長崎1名、宮崎1名、鹿児島1名、沖縄1名の8人のメンバーで構成されており、2019年までは毎年夏にBLCを開催し、飲み会（意見交換会）などを行ってきました。ここ数年はコロナ禍ということもあり、なかなか顔を合わせる機会はありませんでしたが、オンラインBLCや座学のWeb講演のサポートなど、様々な形でU40の活動に取り組んで参りました。今年は、Withコロナではありましたが、BLCが久々の現地開催をされており、今後、各支部でのBLCの再開も期待されます。引き続き、皆様がより良い心臓血管外科ライフを送れるよう、九州、また全国の若手を盛り上げていきたいと思えます。

九州沖縄支部長

大分大学医学部附属病院 心臓血管外科
宮本 伸二 先生



今年は支部長としても、一医師としてもU-40の活動に直接お手伝いすることはなく申し訳ありませんでした。心臓血管外科学会のU-40が胸部外科学会、血管外科学会の若手育成システムの目標となり引っ張っていることを誇りに思います。メディアに取り上げられたのもそういったコロナ禍を逆手にとりオンラインでのOff the Job Trainingシステムを確立するなどの先進性と実績が認められたからだと思えます。私は広報啓発委員長として今年の日本医学会総会で掲示する学会ポスターを作成しましたが、そこでも学会が誇る事業のひとつとして大きく取り上げています。最近はむしろU-40に学会が引っ張られている感すらしています。いつだって新しいものを生み出すのは若者です。コロナ明けの今年、今度はU-40がどう打って出るかいよいよ楽しみです。

九州沖縄支部代表幹事

久留米大学心臓血管外科
和田久美子



渡邊隼先生、西村征憲先生、野上英次郎先生に次いで、2019 年度より後任を務めさせて頂いております和田 久美子と申します。医局は久留米大学心臓血管外科に所属しております。一昨年結婚し東京へ異動しておりますが、主婦業や通院(不妊治療含む)のため、心臓血管外科の激務を続けていくことが困難で、1年間、発熱外来や循環器外来などが主体の勤務となっておりました。(結果的に、クリニックでの外来業務は夜遅くなることも多く、代医が見つからないことが多いため、通院の妨げとなっていました、、、) 幸い、女性としての働き方を尊重してくる勤務先が見つかり、また心臓血管外科には戻りましたが、今後、外科医としての修練をどうやって積んでいくべきなのか、また継続は可能なのか、私自身も先行き不透明です。U-40 での活動を通して諸先輩方のお話を伺い、様々な刺激や気づきがありましたので、それらを糧に、働いていければ良いなと思っています。40 歳になり、今期で幹事は退任となりますが、これからも働き方改革をはじめとした様々な課題が解消されるよう、自身のワークライフバランスも整えていき、良いところがあればまた後輩たちへ伝えていければと思います。

九州沖縄支部副代表幹事

福岡市立こども病院 心臓血管外科
原田 雄章

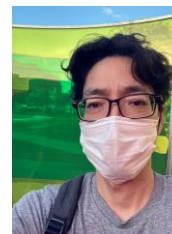


今後も九州沖縄地区を盛り上げ、切磋琢磨し合える仲間を増やしていければと思います。

九州沖縄支部幹事

琉球大学病院 血管外科

比嘉 章太郎



皆様こんにちは。U-40 九州沖縄支部幹事を務めます比嘉章太郎と申します。私はまた血管外科グループとしても活動しております。沖縄県内においてU-40での活動内容を周知する機会があり、少しずつですが横のつながりをできてきているのを実感しております。これからもU-40や学会活動にも貢献できればと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

九州沖縄支部幹事

埼玉石心会病院 心臓血管外科

阿部 貴文



2018年の九州沖縄支部のBLCに参加した際、幹事のお誘いを頂いたのをきっかけに幹事を務め3年目になります。U-40には、医局や病院の枠を超えて同世代の心臓血管外科医とのつながりができるという素晴らしい役割があると思います。同じ世代であるからこそ、同じような悩みを抱え、またそれを共有し相談することができる仲間が、U-40にはいます。若手の力でU-40を盛り上げて行きましょう。宜しくお願い致します。

九州沖縄支部幹事

鹿児島大学 心臓血管外科

立岡 修治



九州沖縄支部幹事を務めさせていただいております鹿児島医療センターの永富脩二です。昨年からは新たな形でのBLC開催など慣れないことも多いですが、今後も皆さんと協力して貢献していければと思います。よろしくお願い致します。

九州沖縄支部幹事

長崎大学 心臓血管外科
寺谷 裕充



九州沖縄支部幹事，福岡大学心臓血管外科の寺谷裕充です。昨年はオンラインでの BLC 開催，と新たな取り組みとなりました。やはり対面での開催というのが理想ではありますが，オンラインでも充実した形式となるようアプローチしていく状況であるとも考えています。引き続き微力ではありますが U40 の活動に貢献できればと思っています。よろしくお願いいたします。

九州沖縄支部幹事

宮崎大学 心臓血管外科
川越 勝也



U-40 九州沖縄支部の幹事を務めさせていただいております川越勝也と申します。自分自身もまだまだ指導を仰ぐ立場ではありますが，たくさんの人とふれあう中で精進していければと考えております。円滑に U-40 の活動が進むよう微力ではありますが頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

九州沖縄支部幹事

嬉野医療センター 心臓血管外科
山元 博文



嬉野医療センター心臓血管外科の山元博文と申します。今年も U40 の活動をとおして自分自身も様々なことを学びつつ、少しでも貢献できるように努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

U-40 プロジェクト

U-40 では、現在

”日本心臓血管外科学会雑誌 U-40 コラム”，

”Advanced Lecture Course (ALC)”，

”基本技術定量化プロジェクト”，

”先天性プロジェクト”，

”NOTSS プロジェクト”，

”女性医師プロジェクト”，

”血管外科プロジェクト”，

の 7 つのプロジェクトが進行しています。

ここでは、各プロジェクトの代表者から本年度の活動を報告致します。

日本心臓血管外科学会雑誌 U-40 コラム

秋田大学 心臓血管外科
高木 大地



【2020 年度 活動報告】

U-40 コラムは、若手心臓血管外科医が行う手技の共有と一般化を目標として始まり、「U-40 Surgical Skill Sharing —今更聞けない心臓血管外科基本手技」として、2020 年の日本心臓血管外科学会には本コラムの書籍化され、転換期を迎えました。

その後は、若手心臓血管外科医師を取り囲む環境は大きく変化していることから、U-040 においても情報の共有・意見の発信のために、「働き方改革」や「新専門医制度」などをテーマに、コラムを通して情報を発信してきました。

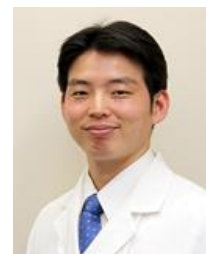
2022 年は、心臓血管外科学会総会の特別企画、ALC プロジェクト、基本手技定量化プロジェクト、血管外科プロジェクト、NOTSS プロジェクトなど、U-40 の各プロジェクト活動について報告する 1 年になりました。

詳細は、本誌を是非見ていただきたいと思いますが、U-40 の幅広い活動、そして多様性が感じられるコラムになったと考えております。

2023 年は、「Basic lecture ~若手の視点から学ぶ~」を主軸として、心臓血管外科専門医制度や特別企画を取り上げていきながら、患者、コメディカルスタッフ、そして我々が笑顔となれるよう、活動していきたいと思っております。

Advanced Lecture Course (ALC)

東京ベイ・浦安市川医療センター 心臓血管外科
吉野 邦彦



【2022 年度 活動報告】

プロジェクトメンバー：石澤愛、石田圭一、今村優紀、衣笠由祐、高橋賢一朗、伊達数馬、西俊彦、沼口亮介、比嘉章太郎、松野祐太郎、田中千陽

U-40 Advanced Lecture Course(ALC)は、Basic Lecture Course(BLC)からさらに一歩進んだ内容を学ぶことを目標に、U-40 会員を対象にレクチャー、ハンズオンなどを行っています。コロナ渦以前は、全国 8 支部で年 1 度行われていた BLC において予選会を行い、予選通過者による冠動脈バイパス(CABG)コンテストを行っていました。また幅広いテーマについて学ぶべく、2020 年度は不整脈外科のハンズオンを行いました。その後 COVID-19 感染拡大を受けオンサイトのハンズオンは開催ができない状況が続きましたが、2021 年度より徐々にオンサイトでのハンズオンを再開しました。今年度は第 35 回心臓血管外科ウインターセミナーにて Sutureless valve、第 53 回心臓血管外科学会総会で CABG、Maze 手術のハンズオンを予定しています。さらに今年度は新しい試みとして、日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)若手医師との合同企画を行いました。日本のカテーテルインターベンションを担う CVIT に推薦された若手循環器内科医と心臓血管外科学会 U-40 医師で内科、外科の立場から様々なディスカッションを行い、交流を図る機会を作りました。第 1 弾は「冠動脈血行再建最新の知見」、第 2 弾は「PAD の診断治療」として、冠動脈、末梢血管それぞれに対して内科・外科で熱いディスカッションが繰り広げられました(末梢血管は血管外科 ALC をご参照ください)。第 1 弾は 2023 年 11 月 12 日(土)15 時からオンラインで開催されました。前半に内科、外科の冠動脈血行再建最新の知見について、それぞれ千葉大学循環器内科斎藤 佑一先生、東京ベイ浦安市川医療センター心臓血管外科吉野 邦彦よりプレゼンテーションを行い、パネリスト 8 名(内科、外科 4 名ずつ)によりディスカッションが行われました。続く後半では症例検討を行いました。国立循環器病センター循環器内科本田 怜史先生、徳山中央病院心臓血管外科 松野 祐太郎先生よりそれぞれ症例提示を行い、パネリスト 6 名(内科、外科 3 名ずつ)によりディスカッションが行われました。特に内科側からは冠動脈血行再建に関する RCT 結果や方向性冠動脈粥腫切除術(DCA)などの最新デバイスについてお話頂きました。また聴講者の半数は循環器内科専門医で、心臓血管外科専門医 30%、心臓血管外科非専門医 15%でした。

【2022年度 活動報告】

各プレゼンテーションとともに、とても勉強になった・勉強になったと答えた参加者がほぼ100%でした。内科・外科それぞれの近年の治療内容について情報共有が可能であったことに加え、若手医師同士の交流が進んだという点においても大変有意義な会であったと考えています。今後もU-40の若手心臓血管外科医のみなさまに、一歩進んだ内容のハンズオン・レクチャーを提供できるよう、プロジェクトチーム一同で活動を続けていきたいと考えています。



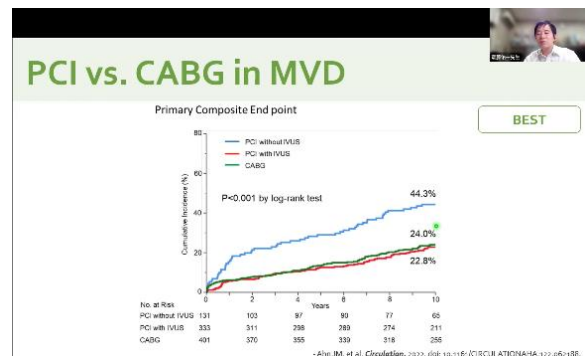
第1部「内科・外科の冠動脈血行再建の最新の知見」

演者(循環器)	齋藤 佑一	千葉大学医学部附属病院
演者(心外)	吉野 邦彦	東京ベイ浦安市川医療センター
	石原 隆行	関西ろうさい病院
パネリスト(循環器)	戸村 暢成	京都府立大学法人 京都府立医科大学
	外海 洋平	大阪大学
	中村 大輔	大阪大学
	今村 優紀	弘前大学
パネリスト(心外)	西 俊彦	海南病院
	石田 圭一	福島医科大学
	矢野 啓太	日赤和歌山医療センター



第2部「症例検討：こんな症例内科ならどうする？外科ならどうする？」

演者(循環器)	本田 怜史	国立循環器病研究センター
演者(心外)	松野 祐太郎	徳山中央病院
	寺下 大輔	北播磨総合医療センター
パネリスト(循環器)	辻田 裕昭	昭和大学病院
	割澤 高行	NTT東日本関東病院・聖マリアンナ医科大学
	伊達 数馬	旭中央病院
パネリスト(心外)	衣笠 由祐	広島市民病院
	浪口 謙治	新居浜病院



基本技能定量化プロジェクト



神戸大学 心臓血管外科
辻本 貴紀

本プロジェクトは、元々は U-40 の OB である安水大介先生(大阪市立大学)が当初担当され、金魚すくいの「ポイ」を用いて外科基本手技であるニードルワークを練習するというユニークなトレーニング法を考案されました。その後、後任の山田敏之先生(名古屋市立大学)がそのトレーニングの成果を定量化することを目指し、スマートフォンのカメラを利用したポイの縫合トレーニング自動評価アプリ(e-suture)を開発されました。妥当性のある評価方法を確立され、論文化されております(Journal of Surgical Education, DOI: 10.1016/j.jsurg.2021.12.012)。また、アプリ(e-suture)の完成版へのアップデートを目指すためのクラウドファンディング(Makuake)に挑戦し資金調達を行ったり、金魚すくいのポイ生産日本シェア No.1 企業とコラボレーションして本アプリ専用のポイを作成したりと、非常にユニークで新しい活動をされておりました。

私自身は VR を用いた大動脈基部の画像評価 (<https://doi.org/10.1253/circj.CJ-22-0334>) や単純 CT 画像の大動脈解離自動診断等の研究をしており、テクノロジーを駆使したプロジェクトと相性が良いのではないかと、ということでこのプロジェクトの後進に選んでいただきました。

ポイを用いたトレーニング、e-suture の開発に関しては山田先生に引き続き関わっていただいております。ただ、このようなテクノロジーを教育にいかす活動は今後さらに可能性がひろがっていくと感じております。例えば、ICT の技術で医用画像の共有を行うためのアプリケーション「Join®」を用いたオンライン症例検討会や東南アジア最大の医師向けプラットフォーム「ドクイティ (DOCQUITY)」を用いた勉強会の開催などに今挑戦しようと考えております。

この1年は、前任の山田先生からプロジェクトを引き継いだものの何をしたらいいのか戸惑いながらあっという間に経ってしまいましたが、来年度からは若手心臓血管外科医が代々受け継がれる外科基本手技の習得に積極的にテクノロジーを取り入れて、今までとは少し違う新しいトレーニング法や教育活動を提案していきたいと思っております。ただ、このプロジェクトには現在私一人しかいません。(泣)面白いトレーニング法を考えることや新しい技術を活かすことに興味がある方、是非ご連絡ください!! (grappleronasu.22@gmail.com)

先天性プロジェクト

U-40 先天性プロジェクトリーダー 平野 暁教(福岡こども)

サブリーダー 原田 雄章(福岡こども)



メンバー：本宮久之(埼玉県立小児医療センター), 伊藤貴弘(千葉こども), 小渡亮介(弘前大), 桑原優大(榊原記念病院), 中村悠治(静岡こども), 片桐絢子(東京女子医大), 森佳織(横浜市立大), 鳥塚 大介(静岡こども), 岩橋啓介(九州大学), 原田大輝(慶應大学)

2022年度のU-40先天性プロジェクトの活動報告をいたします。

U-40先天性プロジェクトでは、小児心臓血管外科に必要なスキル向上のための Off the Job Training や、今後の小児心臓血管外科医育成について、若手の意見の集約と現場のニーズに合わせた小児プログラムを考えていくことを目的として活動しています。

【U-40 先天性プロジェクトの Mission】

- ・各支部 BLC での小児心臓外科領域のトレーニングの充実
- ・小児心臓血管外科医育成にむけた Off the Job Training の計画と充実
- ・U-40 小児心臓血管外科のための情報共有と情報交換

【日本小児循環器学会 次世代育成委員会の活動について】

平野、本宮の2名が日本小児循環器学会の次世代育成委員会に委員として参画しています。この委員会は、「生涯育成プログラムWG」と「情報収集WG」の2つのWGで構成されています。

「生涯育成プログラムWG」では、今まで確たるものが明らかではなかった小児心臓外科医としての教育プログラム作成を行っています。プログラムの詳細は小児循環器学会学術集会中に毎年進捗が発表されていますので、ぜひ一度ご覧ください！小児心臓外科手術を客観的に評価し、手術ビデオの評価も導入されることになると思われます。修練している若手の評価だけでなく、指導者への逆評価も含んでいる革新的なプログラムになっています。(図は教育プログラムの目標)

「情報収集WG」では、日本小児循環器学会に加盟している全施設を対象とした手術内容や医師資格・年齢などを明らかにするための施設調査を行いました。解析結果は2023年7月に開催されます小児循環器学会学術集会で発表予定です。今後は地域ごとの在り方についての話し合いを行うべく準備を進めています。

目標

- ✓ 小児心臓外科医を志す若手に自分の立ち位置の確認と目標を明確に与え、技術を公平に評価し、修練のモチベーションを保持させる。
- ✓ 現在の施設で実現可能な学会主導の努力目標としての「レベル認定制」を制定する。
- ✓ 公平で客観的、かつ明確な評価法作成する。
- ✓ 育成プログラムを制定することで各施設での若手育成の環境を整える。
- ✓ 次世代につながる優秀な小児心臓血管外科医を学会主導で育成する。

補足

このプログラムは各人の手術技能のQuality評価のためのものであり、各人の認定レベル以上の手術の制限をするものではない

【第3回 JSPCCS 外科系教育セミナー「新生児・乳児の安全な人工心肺確立」】

2022年3月12日に Webinar として開催されました第3回 日本小児循環器学会 外科系教育セミナーでは、「新生児・乳児の安全な人工心肺確立」をテーマとして、JCHO 中京病院 櫻井一先生、兵庫県立こども病院 松久弘典先生、福岡市立こども病院 中野俊秀先生よりご講演いただきました。

【第4回 JSPCCS 外科系教育セミナー「姑息術スペシャリストへの道① ～肺動脈絞扼術～」】

2022年7月9日に Webinar として開催されました第4回 日本小児循環器学会 外科系教育セミナーでは、「姑息術スペシャリストへの道①」として、肺動脈絞扼術に焦点を当てて、福岡市立こども病院 安東勇介先生、東京大学 平田康隆先生、京都府立医大 前田吉宣先生にご講演いただきました。

【第5回 JSPCCS 外科系教育セミナー「姑息術スペシャリストへの道② ～シャント手術～」】

2022年11月26日に Webinar として開催されました第5回 日本小児循環器学会 外科系教育セミナーでは、「姑息術スペシャリストへの道②」として、シャント手術に焦点を当てて、国立循環器病研究センター 盤井成光先生、京都府立医大 小田晋一郎先生、岩手医大 小泉淳一先生にご講演いただきました。

JSPCCS外科系教育セミナーVol. 4
姑息術 スペシャリストへの道①
～肺動脈絞扼術～ (主肺動脈絞扼術, 両側肺動脈絞扼術)

福岡市立こども病院 安東勇介 | 東京大学 平田康隆 | 京都府立医科大学 前田吉宣

2022.7.9 SAT Zoom Webinar 14:00-15:30

参加申込 https://zoom.us/join/zoom/register/WN_31dg_FIROX-IEZlrCx-ohQ

JSPCCS外科系教育セミナーVol. 5
姑息術 スペシャリストへの道②
～シャント手術編～ (若手に伝えるシャント手術の手法を中心に)

国立循環器病研究センター 盤井成光 | 京都府立医科大学 小田晋一郎 | 岩手医科大学 小泉淳一

2022.11.26 SAT Zoom Webinar 14:00-16:00

参加申込 https://zoom.us/join/zoom/register/WN_Tg5b0codQ1-zNWKcgGb4gQ

外科系教育セミナーは、日本小児循環器学会 外科系教育委員会が主催で行っており、平野が委員として参加しています。U-40 幹事もパネリストとして定期的に参加していますし、視聴者となっている U-40 会員の先生にも積極的に参加していただいています。

今後は、第 6， 7 回としてファロー四徴症手術を 2 回に分けて開催予定です。

詳細は先天性メーリングリストでもご連絡いたしますので、どうぞ期待！

NOTSS プロジェクト

NOTSS プロジェクトリーダー 浪口 謙治



サブリーダー 高木大地

メンバー 星野理、井上善則

【2022 年度活動報告】

Non-Technical Skills for Surgeons(NOTSS)の必要性は増してきており、現代においては外科医の必須スキルです。このプロジェクトでは、心臓外科を牽引していく U-40 若手医師を中心に未来のリーダーを育成するための各種企画を計画・立案しております。

NOTSS スキルとして

- ・状況認識
- ・意思決定
- ・コミュニケーションとチームワーク
- ・リーダーシップ

が挙げられますが、2021 年度はコミュニケーションとチームワークを中心に行うべく、上田裕一先生(現 奈良県立病院機構理事長)、中島和江先生(現 労働者健康安全機構理事)よりご講演いただきました。

2022 年度は「リーダーシップ」を中心に J&J 株式会社エデュケーション部門担当栗原大様より、現在一般企業が社員教育で用いるコミュニケーションやリーダーシップに関する最新の知見を講演いただいております。2 回の web 講演を行なっていただき、現代におけるリーダーシップのあり方と他世代とのコミュニケーション方法などを学びました。

2023 年度におきましては第一弾として「プレゼンテーション方法」に対する講演会を企画しており、現在 Smith and Nephew(スミス・アンド・ネフュー)社とミーティングを進めております。

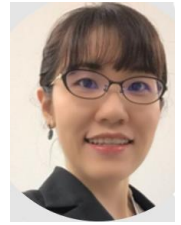
- ・学会発表におけるスライド作成のコツ
- ・日常診療における自身の考え方を伝えるためのコツ
(納得してもらいやすいプレゼンテーション方法について)

など含め、NOTSS スキルを身につける機会を皆様に提供できればと考えております。随時他企業との共同企画も進めていく方針です。

また、2023 年度は手術室での心理的安全性、パフォーマンスの向上を目標に各種アンケート作成およびプロトコルの作成など行なってもいきたいと考えておりますので興味がある方は、ぜひ一緒に活動していきましょう。連絡お待ちしております。

女性医師プロジェクト

あいち小児保健医療総合センター 心臓血管外科
野田 美香



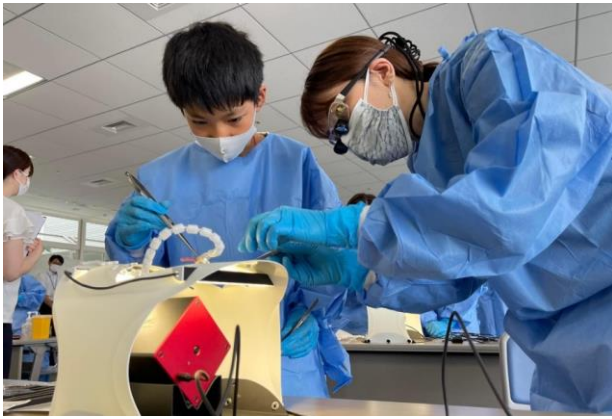
2020年度より、女性心臓血管外科医が働きやすい環境を考え提案し、心臓血管外科全体の環境改善に繋げることを目標に、当プロジェクトが発足しました。

プロジェクト発足時のリーダー；根本寛子先生のもと、1年目は主に女性の支部代表の先生方に御協力頂き、女性医師の悩みを共有する場を作ることを目的に座談会を配信しました。2年目は心臓血管外科における性差意識や、性差がもたらす異性への無意識の思い込みのバイアス、いわゆる unconscious bias を知るために、心臓血管外科学会の全会員を対象に「心臓血管外科における性差意識の本音を知るためのアンケート調査」を施行し、自身の性差意識、無意識の思い込みに気付くことができ、また、男女別、世代別の傾向を明らかにすることで、男女が互いの性差を認識しながらより良い職場環境を作りあげるきっかけにもなりました。アンケートの結果は現在報告準備中です。

3年目は根本先生の退任により、中部支部代表の野田がプロジェクトリーダーを引き継ぎ、8月に「なでしこカップ」を開催いたしました。福島市役所に各支部幹事の女性医師8名が集合し、我々が講師となり、まずは医療に興味を持つ中学生にドライラボで冠動脈吻合体験をしてもらいつつ心臓血管外科に仕事に興味を持ってもらう職場体験を2部生で行いました。その後、講師2名をお迎えし、「女性医師のキャリア・ワークライフバランス・女性リーダーの育成」に関して意見交換を行い、続いてブタ心臓とラム心臓を用いて CABG・AVR・VSD patch closure のハンズオンを行いました。この活動は地元の新聞、ラジオ、テレビで取り上げていただきました。また、その後、場所を移動し、同メンバーで座談会を配信しています。コロナ禍でオンライン活動が活発化したことを利用し、女性心臓血管外科の存在を知って頂く幅が広がったと感じております。

なお、今年度をもちまして根本が幹事を退任させていただくのに伴い、来年度のプロジェクトリーダーを森佳織先生（関東甲信越支部幹事）に引き継ぎます。引き続き皆様よりご支援を賜れますと幸甚です。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。





民 報 2022年(令和4年)

中学生 心臓手術に挑戦

最先端機器使用 福島で模擬体験会

医学の道を目指す中学生を対象とした医療技術体験会は六日、福島市役所で行われ、参加者が福島発の最先端の機器を用いて、医師の仕事に理解を深めた。

市、四十歳以下の心臓外科医でつくる日本心臓外科学会U-40、医療機器製造開発のイービーエムの主催。市内の中学生十七人が参

医師の指導を受けながら、心臓外科手術の模擬訓練に取り組む参加者(左)

加しいビーエムの朴栄光社長が開発した手術シミュレーター「BEAT FUKUSHIMA」(ビート・フクシマ)を使い、心臓外科手術を模擬体験した。

日本心臓外科学会U-40の田中千陽さんら医師八人の指導を受けながら、手術用のガウンやメス、ピンセット

伊達など東北大会へ

県吹奏楽コン中学一部

第六十回県吹奏楽コン(事賞)と原町一、郡山、ンクール中学一部は六日、いわき市のアリオ場で決めた。

各地の予選を突破し

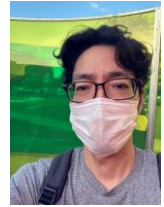
などを用い、シリコーン製の血管モデルの縫合などを行った。

将来、医師を目指すという市内の福島大付属中一年の阿部哲士さん(こ)は「とても難しく手が震えた。実際に手術を行う医者の先生のござが分かった」と感心した様子だった。

血管外科プロジェクト

琉球大学病院 血管外科

比嘉 章太郎



2020年より発足したU-40血管外科グループとして活動しております琉球大学病院の比嘉章太郎と申します。現在は旭川医科大学の竜川貴光先生、平塚市民病院の林啓太先生、一宮市立市民病院の鶴岡琢也先生、愛知医科大学の今枝佑輔先生の5人のメンバーで活動しております。

2022年度の活動として、日本心臓血管外科学会雑誌U-40特別企画への投稿と日本心血管インターベンション治療学会(以下CVIT)とのコラボレーション企画をさせていただきましたのでご報告いたします。

2022年3月3～5日に横浜で開催された第52回日本心臓血管外科学会学術総会のU-40特別企画の中で「心臓血管外科学会における血管外科医の役割」という演題で発表させていただきました。そしてその内容を日本心臓血管外科学会雑誌U-40特別企画に投稿し、第51巻5号へ掲載させていただきました。

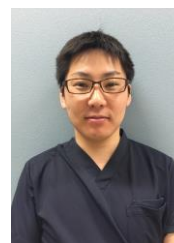
また今回の特別企画での発表後に座談会を開き、我々血管外科グループが心臓血管外科学会に望むことに関して討論しました。その中でCVITの若手と一緒に学ぶ企画があればおもしろいのではないかという意見が出ました。田中代表がすぐにCVITとの間を取り持ってください、2022年11月25日に心臓血管外科学会U-40×CVIT合同企画②を開催することができました。この企画では「PAD」をテーマに、CVITの若手の中でも中心となる先生方にご参加いただき討論することができました。非常に有意義な講義・討論であったため、シリーズ化できればと考えております。ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。

オンラインBLCに関しては、済生会八幡総合病院の三井信介先生を講師にお招きし、2023年1月14日に「血栓内膜摘除」をテーマにご講演いただく予定です。詳細はまた来年度にご報告いたします。

心臓血管外科学会会員の中でも血管外科を専門にされている先生方も多くいらっしゃると思います。我々と一緒に活動してくださる先生を募集しておりますので、我々の活動に興味のある方はぜひご一報ください。血管外科分野として心臓血管外科の先生方と一緒に学び、活動してきましょう！

ウィンターセミナー

愛知厚生連海南病院 心臓血管外科
西 俊彦



この度、第 35 回心臓血管外科ウィンターセミナー学術集会において、U-40 ADVANCED LECTURE COURSE、Sutureless valve ハンズオンセミナーを開催いたしました。

講師は INTUITY (Edwards)、Perceval (Corcym)、両者のプロクターを務めておられる東京女子医大 心臓血管外科教授 新浪博士先生にお務めいただきました。

前半の講義は聴講自由とし、後半のハンズオンに関しては事前に公募した 24 名の方々にご参加いただきました。

前半の講義では INTUITY、Perceval、それぞれの特性や手技上の注意点、国内および海外での使用状況、成績などを詳細にご教授いただきました。多くの先生方にご参加いただき、立ち見も出るほどの盛況でした。

講義後の質疑応答では INTUITY と Perceval の使い分けなど様々な質問があり、新浪先生より実際の植え込み経験を踏まえたご回答をいただきました。

後半のハンズオンでも引き続き新浪先生にご指導いただきながら、Edwards、Corcym のそれぞれのデバイスを実際に触っていただき、充実したハンズオンを行うことができました。最後に新浪先生から参加者に対して、「新しいデバイスに関する知識や技術を積極的に習得して、様々な手を持っておくことが自分を助ける。」とメッセージをいただき、セミナーは終了いたしました。

講師をお務めいただきました新浪先生、ご参加いただいた皆様、ご協力いただきました U40 幹事の皆様、Edwards、Corcym の皆様、誠にありがとうございました。

体外循環勉強会

東邦大学医療センター佐倉病院 心臓血管外科
田中 千陽



2022年8月20日、21日にJaSECTと泉工医科株式会社のご協力を得てU-40体外循環勉強会をおこなった。若手外科医は体外循環を実際に操作する機会がなく、それでも手術を安全に行うためには十分な体外循環に関する知識が必須である。そのため2022年度より心臓血管外科専門医試験を受験するために、実際の体外循環への参加型実習5例を体験することが義務づけられた。しかし現場では体外循環に参加するための時間がない、許されていない、参加しても顔を出して名前を書いてもらっておしまいである、ということが多く聞かれ、以前調査したU-40アンケートでも期待していた実習ができていないことが明らかとなった(日心血雑誌2020年49巻5号p.5-U1-5-U5)。十分な知識を身につけるためには体外循環の基本的技能もセットで併せ持つべきであり、そのためには人工心肺の水回しのレクチャーを受けることが重要であると考え企画した。とりわけ外科医にとってはトラブルが発生した場合の指示ができるようトラブルシューティングに重きを置いた勉強をしたく、JaSECTの百瀬直樹前理事長、安野誠理事長、丹木義和教育委員長にご賛同をいただき、また泉工医科株式会社様の人工心肺装置とラボをお借りし本会の開催に至った。本勉強会に関しては実臨床での参加型実習と遜色のないプログラムと考え、事前に心臓血管外科専門医機構にご提言し、参加型実習に代わる1回のクレジットとして御承認いただいた。

開催報告

- ・対象者 日本心臓血管外科学会 U-40 会員
- ・参加者数 (延べ) 72名 (1回につき上限8名)
- ・日時 2022年8月20日、21日(全6回)
各日10時-12時、13時-15時、15時30分-17時30分
- ・場所 泉工医科株式会社(東京都文京区本郷2-23-13)
2会場使用
- ・参加費 1回6000円
- ・講師 JaSECTより推薦された6名(以下、敬称略)
(安野誠、百瀬直樹、丹木義和、岩花妙子、安田徹、知念さゆり)

・プログラム

当日までに事前学習資料を配布。動画にて「体外循環基本的事項（百瀬直樹先生）」「心筋保護液（秋田大学山本浩史教授）」を試聴する。

当日は2時間のコース内で講師指導下による基本的手技レクチャーに加え、JaSECTに準備いただいたトラブルシューティング7シナリオを体験した。シナリオは以下7個である（酸素供給停止、送血圧上昇、脱血不良、サッカー回し、オクルージョン不良、吸引あたり・ベント逆流、空気誤送）。

・収支

収入 432,000 円：参加人数 72 名 x 6,000 円参加費

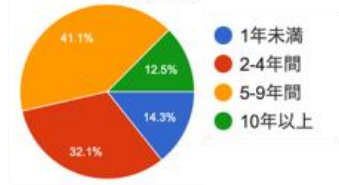
支出 357,400 円+諸費用：

泉工医科場所、機材借用 147,400 円

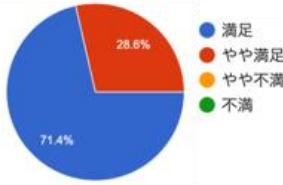
講師依頼 7 名 x 30,000 = 210,000 円

諸費用（当日弁当代）

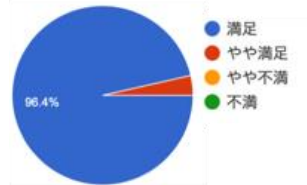
心臓血管外科医としての
経験年数



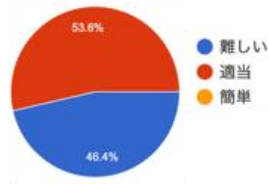
事前学習資料について



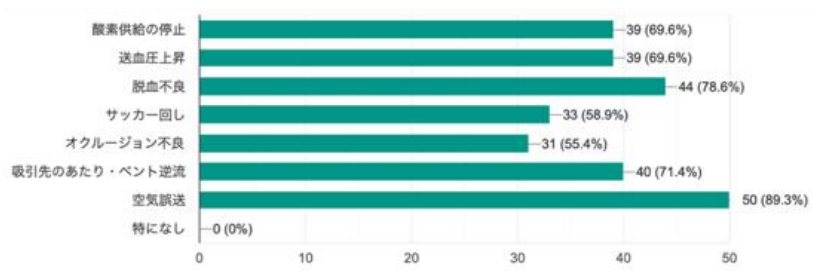
当日の講義について



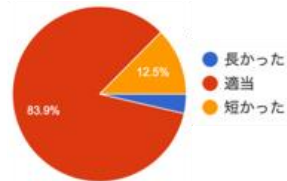
基本実技の操作は？



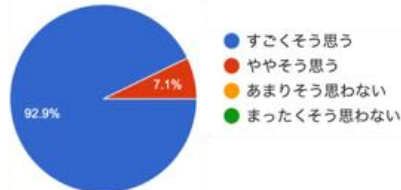
参考になったシナリオは？（複数回答可）



研修時間は？

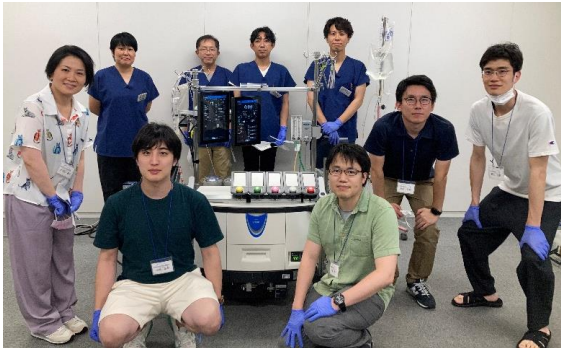
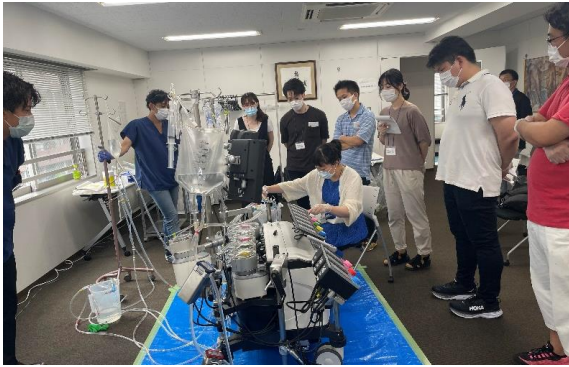


今後に役立つ勉強会であったか？



臨床での参加型実習と比較してどうだったか？





・開催を終えて

本勉強会は自分が今すごく勉強したいことを実現した企画であったが、応募申し込みを始めるとたった4時間で当初予定していた48名は満員御礼になった。その後、部屋数を増やしより多くの参加者を受け入れることができたが、やはり多くの若手が体外循環をしっかりと勉強したかったのだと感じた。実際に参加者から絶対に参加したかった、開催してくれて嬉しいとの声をたくさんいただき、大変満足度の高い企画であったと考える。JaSECTの安野理事長を始めとする講師陣からは若手外科医に貢献できる機会がとても嬉しいとお言葉をいただき、今後も継続したご協力をいただけることになった。泉工医科工業株式会社の皆様は休日にも関わらず多くの方にご準備をいただき、筒がなく開催することができ感謝申し上げます。

若手外科医は体外循環の知識、基本的操作技能に関する網羅的な学びの場が必要であり、これは学会が主導でないとできない。加えて参加型実習では勉強できないトラブルケースシナリオもしっかり勉強すべきである。アンケート結果からも定期的な開催を望む声が多く、これからの学会主導教育にぜひ取り入れていくべき内容であると考えます。本企画の今後の発展性としては、本勉強会を継続しさらにみっちり勉強したい人にはAdvancedの会を開催できれば嬉しい。そして若手心臓血管外科医で体外循環技術認定士資格を取得し、工学士と医師との橋渡し役を目指す人が増えれば幸いである。

心臓血管外科手術基本手技 Webinar

とっておき 心臓血管外科医のセンスがわかる 日本 **初** ウェビナー

主催  日本心臓血管外科学会 U-40 &  心臓血管外科手術
エクセレンス 《心臓血管外科手術エクセレンス》
編集委員

心臓血管外科手術基本手技 webinar シリーズ

無料!!

- 【主催】 日本心臓血管外科学会U-40 & 《心臓血管外科手術エクセレンス》編集委員
- 【協賛】 株式会社中山書店
- 【回数】 全16回（Basic 11回 + Advanced 5回）
- 【日程】 下記表をご覧ください。講師・日時は決定次第更新します。
- 【時間】 各回40分（60分、75分のセッションあり）。1～3演題の講演の後に10～15分のディスカッションを予定。
- 【開催形式】 ライブ配信（ZOOMウェビナー）、オンデマンド配信（当サイトにてストリーミング配信。ライブ配信後1年間）
- 【視聴方法】 ライブ配信での視聴には、視聴する端末に事前にZOOMアプリをダウンロードしてください。
- 【対象】 心臓血管外科医、これから心臓血管外科医を目指す研修医・学生
- 【費用】 無料

日本心臓血管外科学会 U-40 & 中山書店<心臓血管外科エクセレンス>編集委員と Webinar シリーズを共同開催しました。

心臓血管外科基本手技からアドバンスまで幅広い内容になっており、全 16 回全ての Webinar で U-40 幹事が司会を行いました。

ご協賛いただきました株式会社中山書店の皆様に感謝申し上げます。

Online BLC

【U-40 online BLC 講義一覧】

ロボット手術の実際（講師：済生会熊本病院 心臓血管外科 押富 隆先生）

ICT の必要性・将来性（講師：旭川医科大学 血管外科 東 信良先生）

重症冠動脈三枝病変（講師：川崎医科大学総合医療センター 杭ノ瀬 昌彦先生）

僧帽弁形成術の基本（講師：近畿大学心臓血管外科 岡本 一真先生）

distal bypass の手技と戦略（講師：旭川医科大学 血管外科 東 信良先生）

弓部大動脈瘤に対する total arch repair～施設の違いに焦点を当てて～（講師：東北医科薬科大学 心臓血管外科 川本 俊輔先生）

Atrial functional MR に対する外科治療（講師：昭和大学江東豊洲病院 心臓血管外科 山口 裕己先生）

Atrial functional MR の診断・治療、Mitraclip の現状（講師：榊原記念病院 循環器内科 泉 佑樹先生）

血栓内膜摘除（講師：済生会八幡総合病院 血管外科 三井 信介先生）

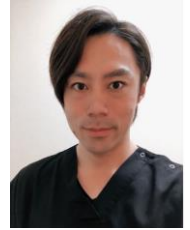
従来はハンズオンと同日に開催していましたが、全国の先生方の講義をどこでも視聴できるというメリットから今年度もオンライン開催としました。

各支部でテーマを設定し、Zoom®を用いた Webinar 形式で行いました。

昨年まではオンライン BLC のポータルサイト（<https://u40blc.web.fc2.com/>）から参加登録し、参加料金を支払い登録すればオンデマンドでも視聴可能でしたが。

BLC ハンズオン

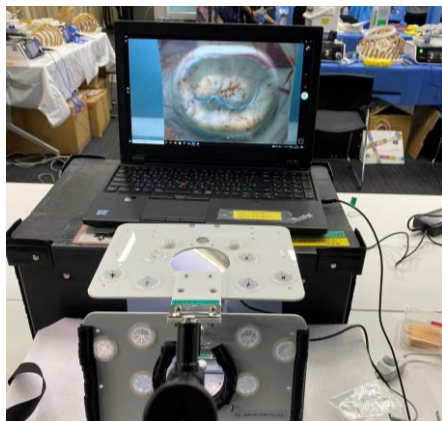
大和成和病院 心臓血管外科
高橋 賢一朗



過去 3 年間、世界は未曾有の新興感染症の流行に見舞われ、行動制限がつきまとう世の中となつて以来、かつては当たり前だった person-in-person で指導を受けるハンズオンセミナーという学び場を失いました。その間我々U-40 は完全に隔離された自宅などの環境からでも参加できるリモートハンズオンを開発・開催して参りました。一定の成果を出すことには成功しましたが、自宅からリモート参加するわけですからコンテンツが dry simulator に限定されることが最大のネックでした。

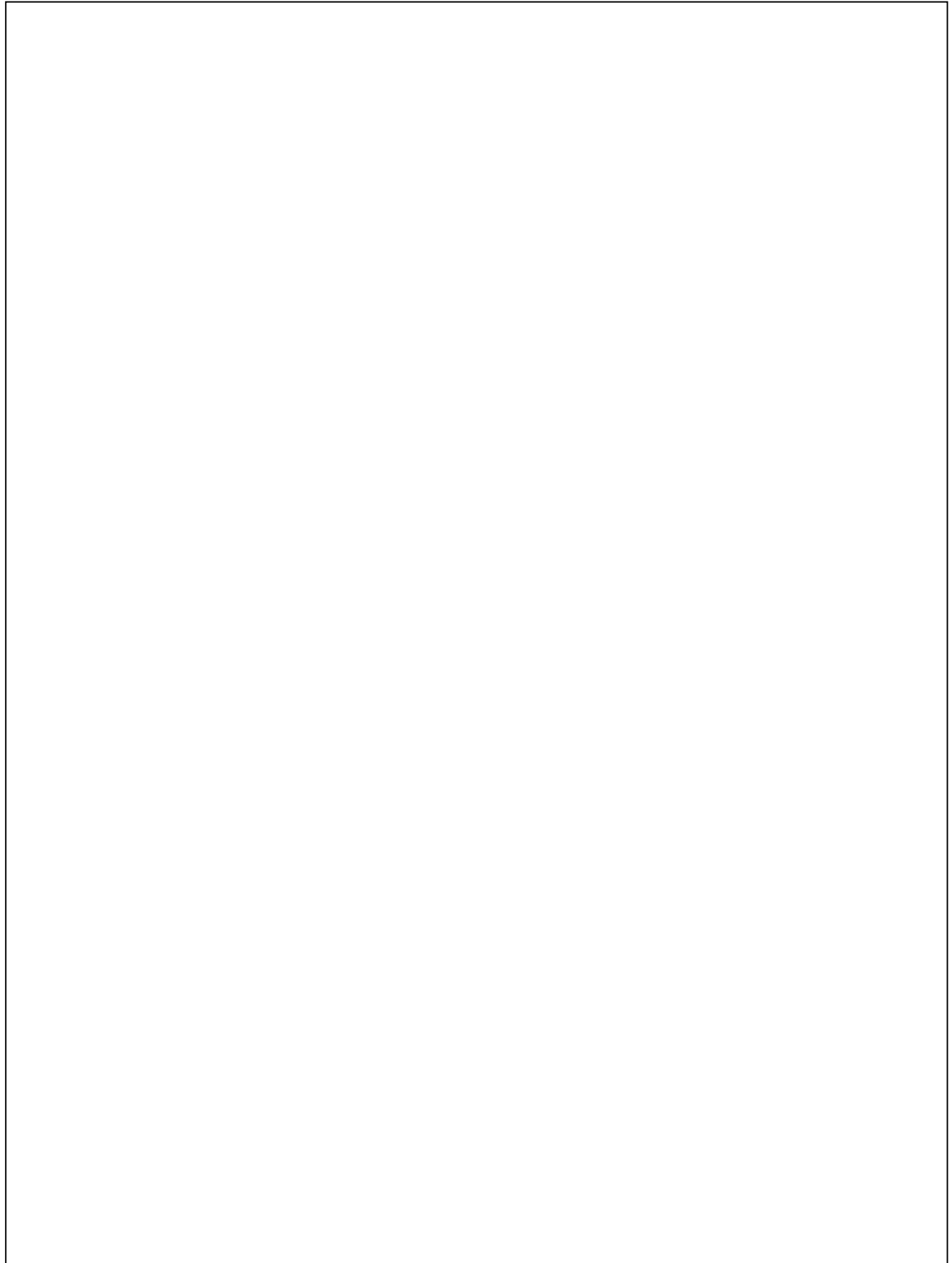
COVID の勢いは今なお収まる心配がありませんが、政府からの行動制限のない環境が戻り、学術集会は徐々に実地開催へと本来の姿に戻ってきました。そうした動きを受けて、U-40 では 3 年ぶりとなる Basic Lecture Course(BLC)ハンズオンの実地開催を 2022 年 12 月 10 日～11 日に開催しました。今回は年に 1 回の開催となるため拡大 BLC ハンズオンと銘打って全国から参加者を募り、空港からのアクセスが大変良い羽田イノベーションシティの PioPark で開催しました。高名な講師の先生方 30 名にご協力いただき、2 日間で若手修練医延べ 120 名の受講生に熱いご指導を施していただきました。今回は新たな試みとして受講コンテンツを①弁膜症基本手技コース②弓部置換・基部置換コース③MICS および CABG コース ④先天性コースの 4 コース用意し、受講生が好きなコースを選択して受講することとしました。特に先天性コースは U-40 としても全く新しい試みであり、ラムの小心臓を小児心臓に見立て、VSD を作成しそれをパッチで閉鎖する手技を行いました。受講生から「刺激的で最高の学びの場だった」「忘れられない貴重な経験になった」など多くの反響をいただきました。これもひとえに講師の先生方のお力添えの賜物と深謝しております。今回のセミナー内容が、未来を担う若手修練医のご活躍の一助となれば幸いです。

拡大 BLC ハンズオンセミナー開催に際して、ご協力いただきました講師の先生方、共催企業の方々、事務局の方々、会場を取り仕切っていただいたイービーエムの皆様に、この場をおかりして深く感謝申し上げます。今回のハンズオンは開催 2 ヶ月前から受講生募集を Web 上で呼びかけたところ、申し込みが殺到し 120 名の参加枠はすぐに満席となりました。心臓血管外科修練医が心にもつ研鑽に対する熱意が失われておらず、このような学びの場を求める声が多いことを再認識しました。今後も心臓血管外科医の未来の安定と繁栄を受け継ぐべく、我々U-40 は研鑽の場を提供することに尽力して参ります。



サマースクール

2022 年度 U-40 会計報告



— 編集後記 —

U-40 全体広報の伊藤貴弘です。Annual report 作成にあたり、山本先生をはじめ各支部長の先生方、幹事の皆様にご協力いただき感謝申し上げます。2018 年度から開始して今回 4 回目ですが、皆様のご協力のもと年を重ねるごとに素敵な仕上がりになったと思います。

各プロジェクトの活動が活発になり、表紙の目次が増えていくのがとても嬉しいです。

COVID-19 感染も落ち着きつつありに、2022 年度の U-40 の活動はオンラインとオンサイトをうまく融合できた素晴らしい年だったなと感じております。

今後も引き続き U-40 の活動を伝え情報を発信することで、若手心臓血管外科同士がつながり有意義な時間を共有できるよう尽力いたします。

千葉県こども病院 心臓血管外科
伊藤 貴弘